

WALLZET NOEL 3

クロゼットシステム収納 [ウォールゼット ノエル3]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

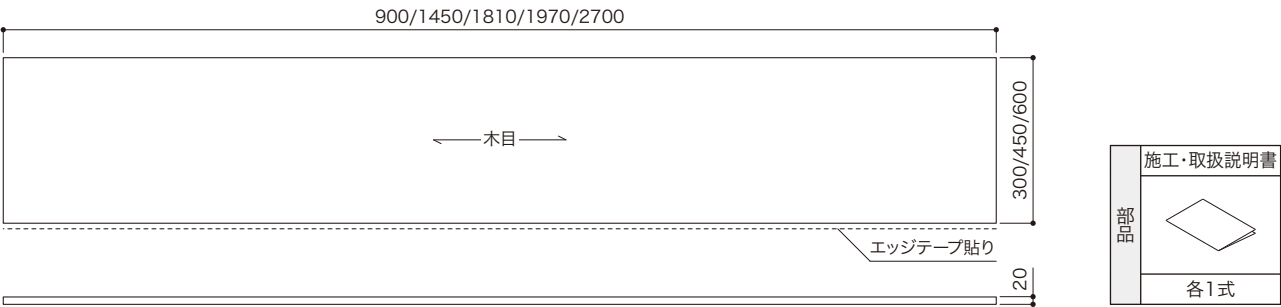
製品図面・パーツセット明細	1～6
施工前の確認事項	7～8
躯体準備	8
施工手順	9～21
設置位置イメージ	21～裏面

製品図面・パーツセット明細

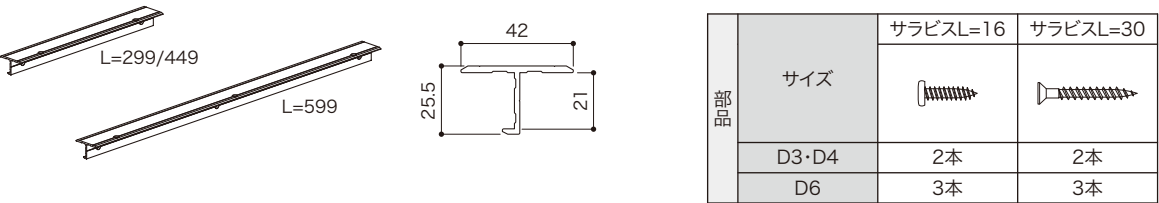
寸法単位:mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

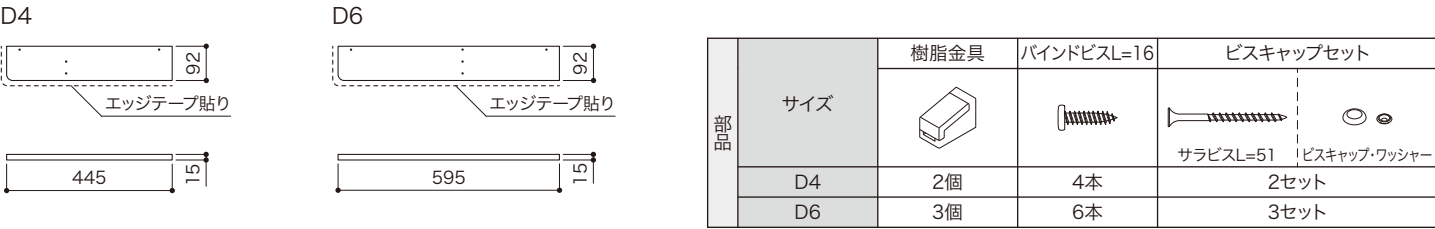
天板



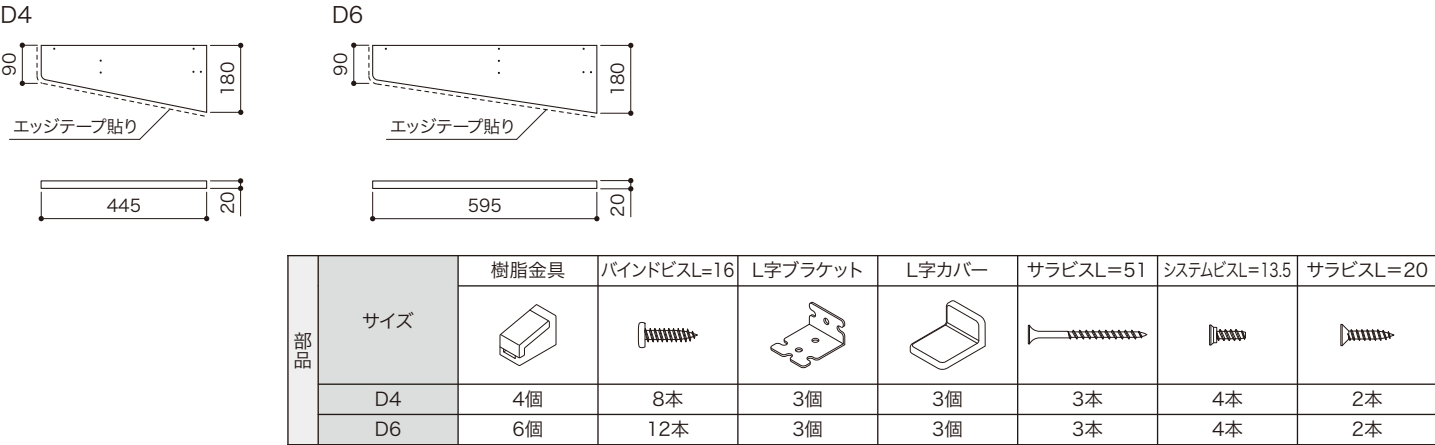
ジョイント金具



ショート側板



ショート仕切板

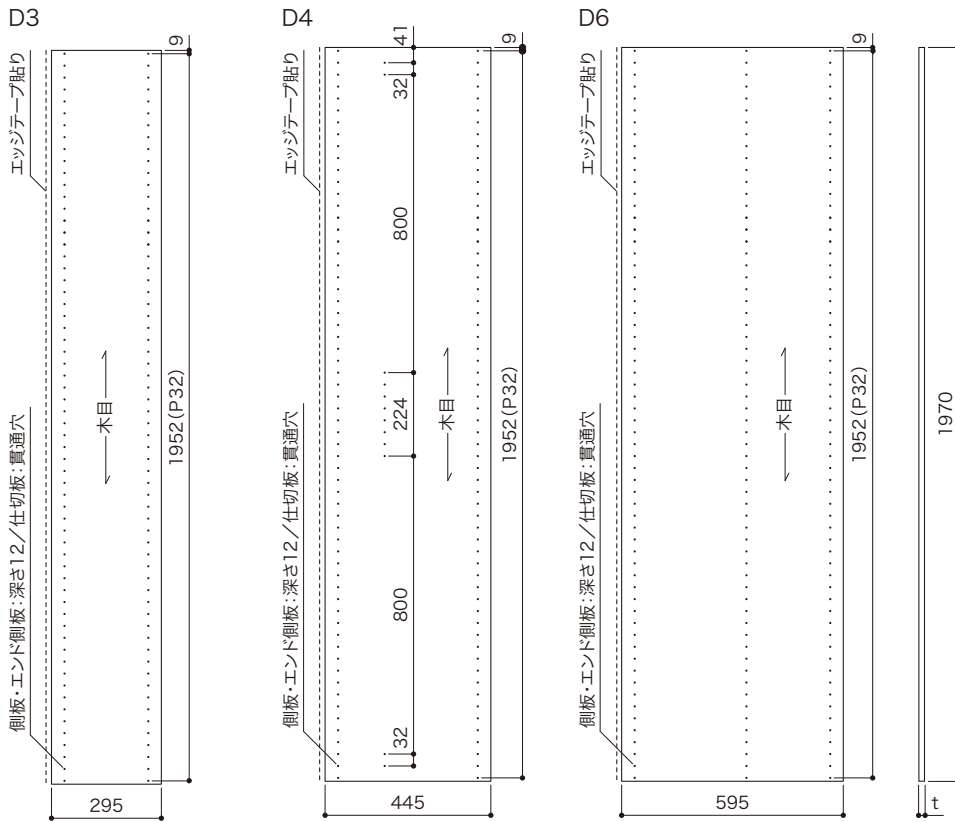


製品図面・パーツセット明細

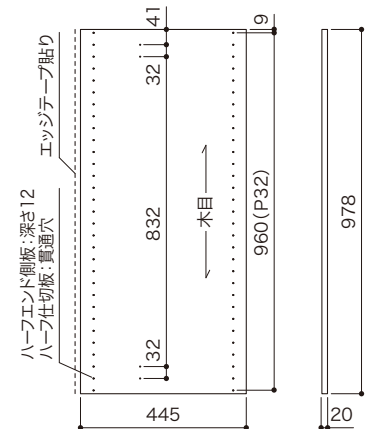
寸法単位:mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

側板・仕切板・エンド側板



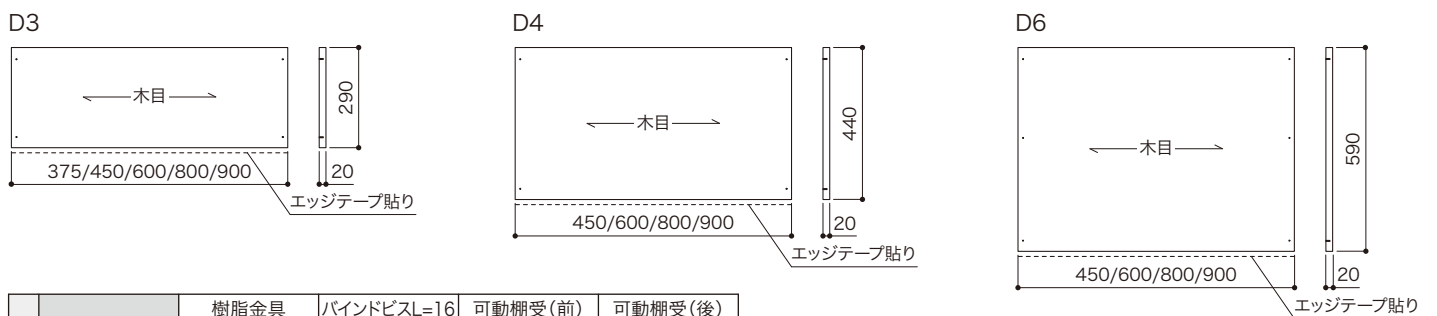
ハーフエンド側板・ハーフ仕切板

側板 t=15
仕切板/エンド側板 t=20

部	パーツ/サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドビスL=50	ビスキャップセット	エッジテープ
					サラビスL=51 ビスキャップ・ワッシャー	(天板用)
品	側板 D3・D4	3個	6本	2本	6セット	—
	D6	4個	8本	2本	6セット	—
	エンド側板 D3・D4	5個	10本	2本	—	1枚
	D6	7個	14本	2本	—	1枚
	ハーフエンド側板	5個	10本	2本	—	1枚
	仕切板 D3・D4	5個	10本	2本	—	—
	D6	7個	14本	2本	—	—
	ハーフ仕切板	5個	10本	2本	—	—

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

棚板(可動・固定兼用)



品 部 品	サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	可動棚受(前)	可動棚受(後)
					
	D3・D4	4個	8本	左右各1個	2個
	D6	6個	12本	左右各1個	4個

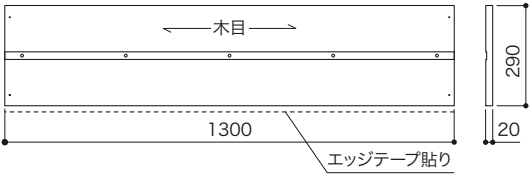
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

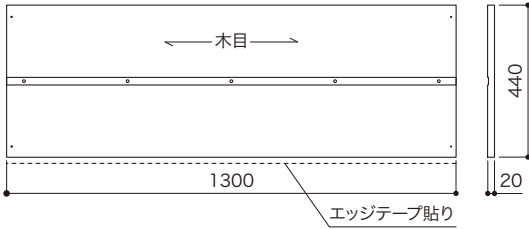
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

フリーカット棚板

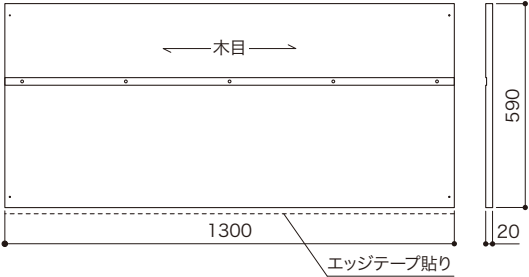
D3



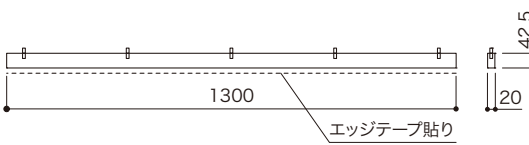
D4



D6

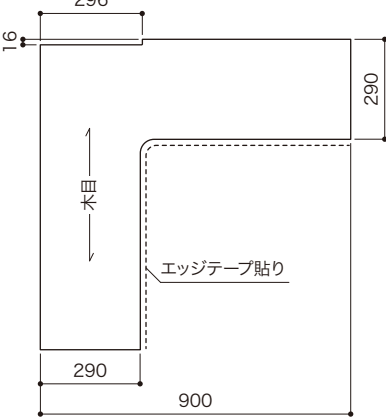


■ 補強棧

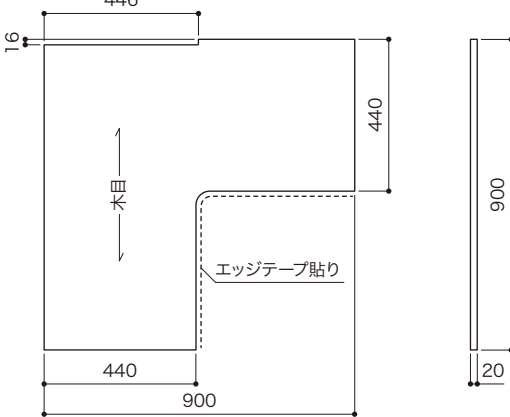


コーナー棚板

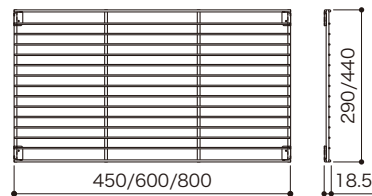
D3



D4

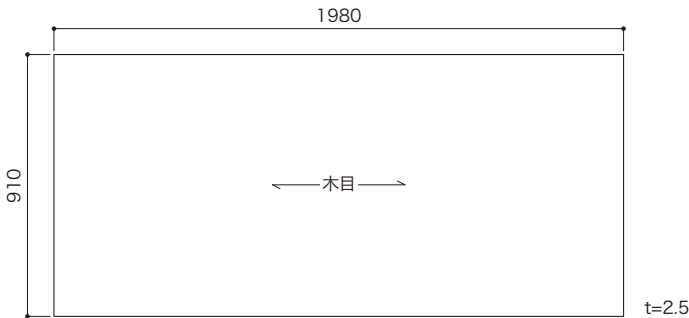


網棚(可動・固定兼用)

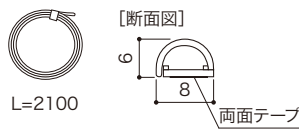


部品	サイズ	補強棧	樹脂金具	バインドビスL=16	固定ネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)
フリーカット棚板		1本	6個	12本	—	—	—
コーナー棚板		—	6個	12本	—	左右各1個	4個
網棚		—	4個	4本	4本	左右各1個	2個

背板パネル



隙間かくし材



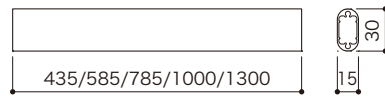
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

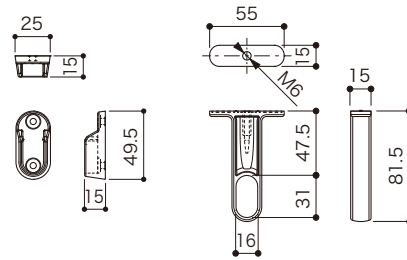
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

ハンガーパイプ

■ パイプ

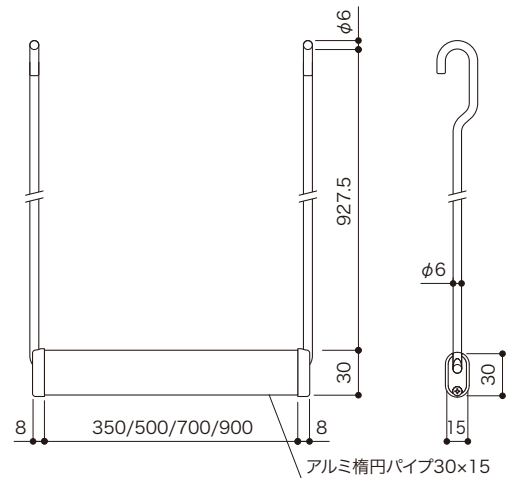


■ パイプソケット ■ 中吊ブラケット



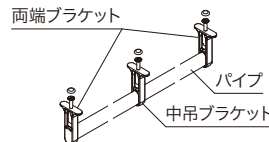
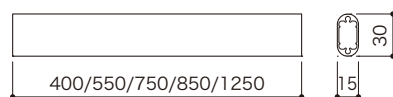
品部	サイズ	パイプソケット	バンドビスL=16	中吊ブラケットセット	
				中吊ブラケット	ボルト・ビスキャップ
	450・600・800	2個	4本	—	
	1000・1300	2個	4本	1セット	

フックハンガー

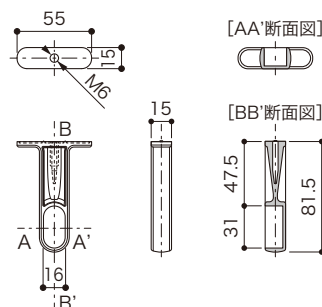


上吊ハンガーパイプ

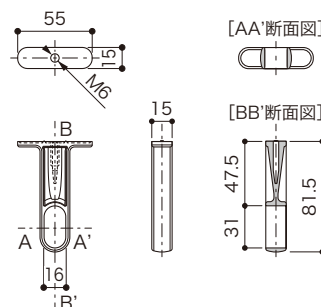
■ パイプ



■ 両端ブラケット

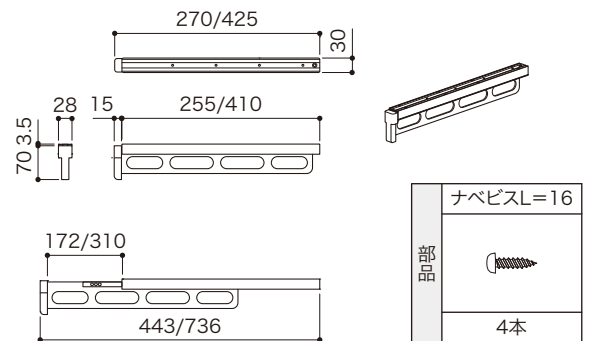


■ 中吊ブラケット

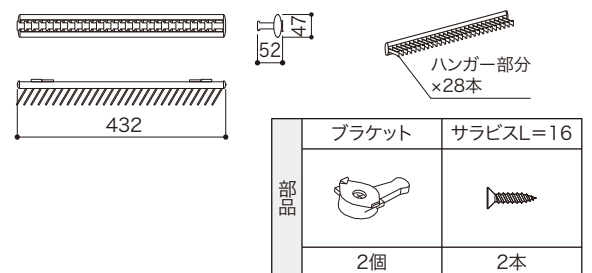


品部	サイズ	両端ブラケットセット		中吊ブラケットセット	
		両端ブラケット	ボルト・ビスキャップ	中吊ブラケット	ボルト・ビスキャップ
	405・555・755・855	2セット		—	
	1255	2セット		1セット	

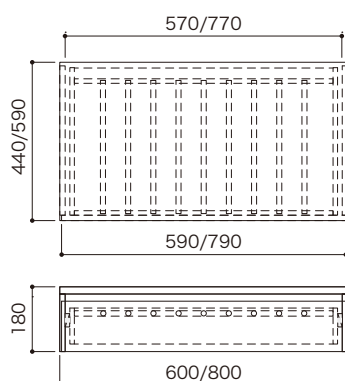
スライドハンガー



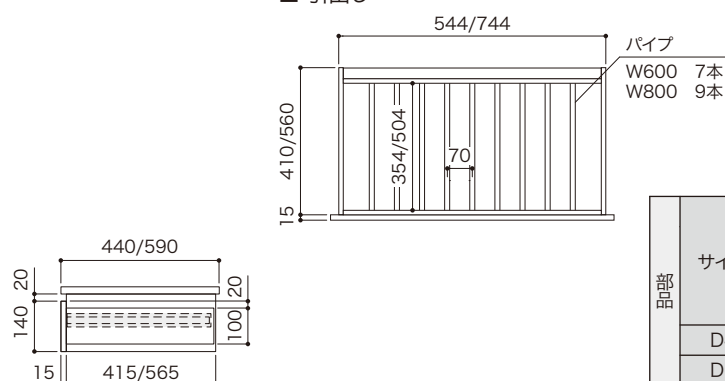
ネクタイハンガー



スラックスハンガー



■ 引出し



[パイプ部分断面]
透明パッキン
ステン巻パイプφ9.5

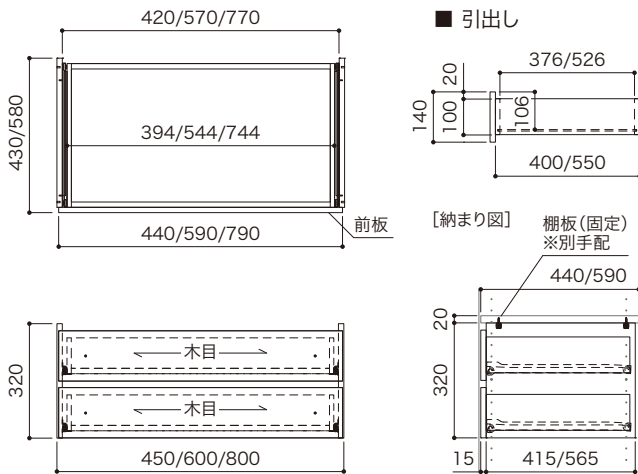
品部	サイズ	ビスL=25	位置だしピン
	D4	4本	4本
	D6	6本	4本

製品図面・パーツセット明細

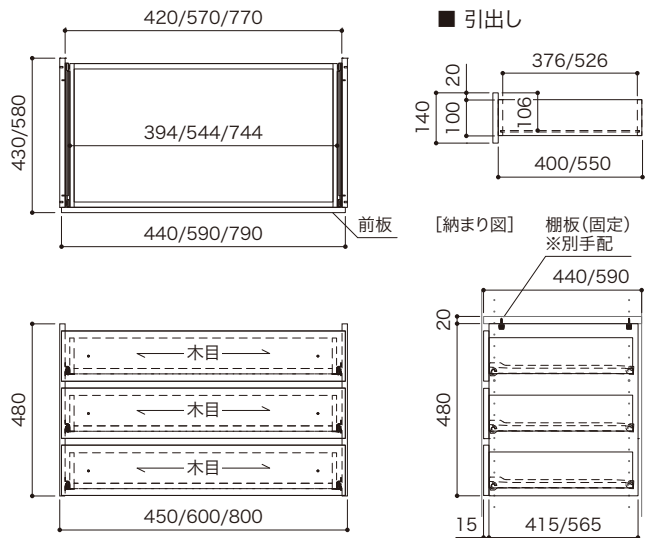
寸法単位:mm

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

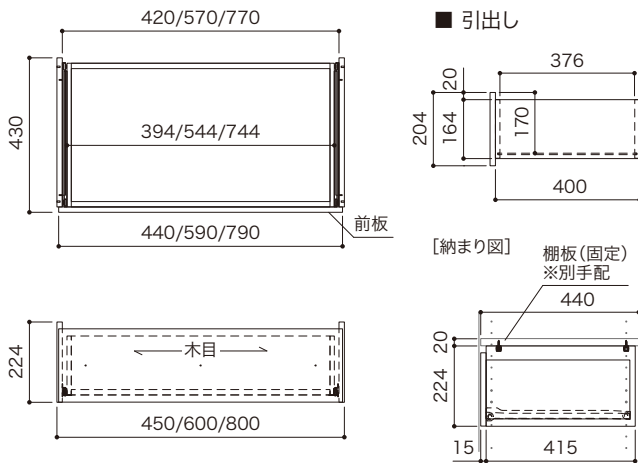
フレーム引出し2段



フレーム引出し3段

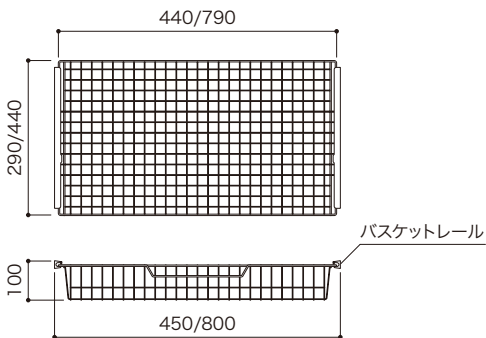


深型フレーム引出し1段



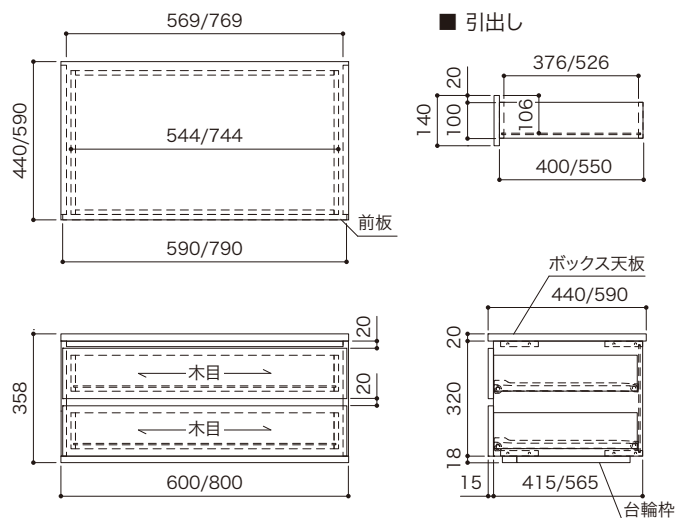
部 品	パーツ/サイズ		ビスL=25	位置だしピン
	2段	D4	14本	4本
		D6	18本	4本
	3段	D4	17本	4本
		D6	21本	4本
	深型		11本	4本

バスケット



品 名	バスケットレール	サラビスL=13
	左右各1本	4本

ボックス引出し2段



品 名	木ダボL=20	サラビスL=30
	11本	10本

施工前の確認事項

寸法単位:mm

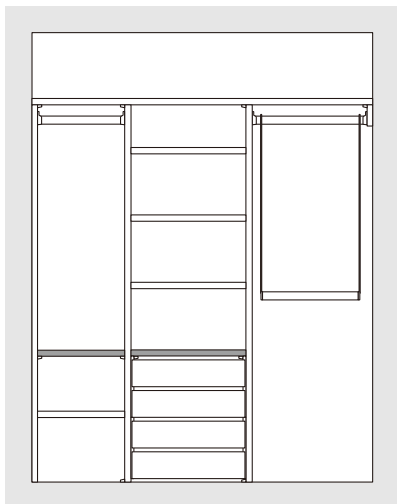
[設置条件について]

設置方法には **両側壁納め**・**片側オープン** の2パターンがあります。

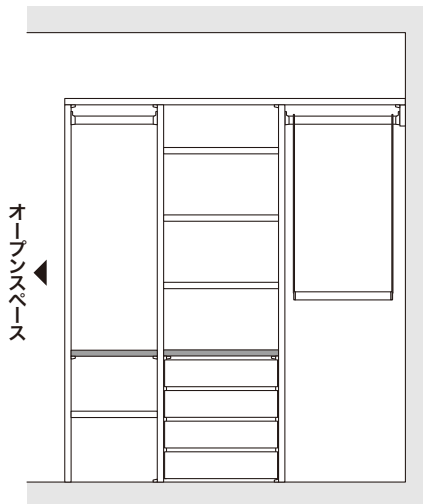
プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。

■ : 各棚板(固定) / □ : 各棚板(可動) / ≡ : ハンガーパイプ

両側壁納め



片側オープン



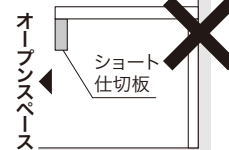
両側オープン



設置不可

ご注意

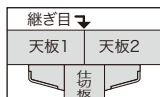
ショート仕切板はオープン側に取り付け
ないでください。



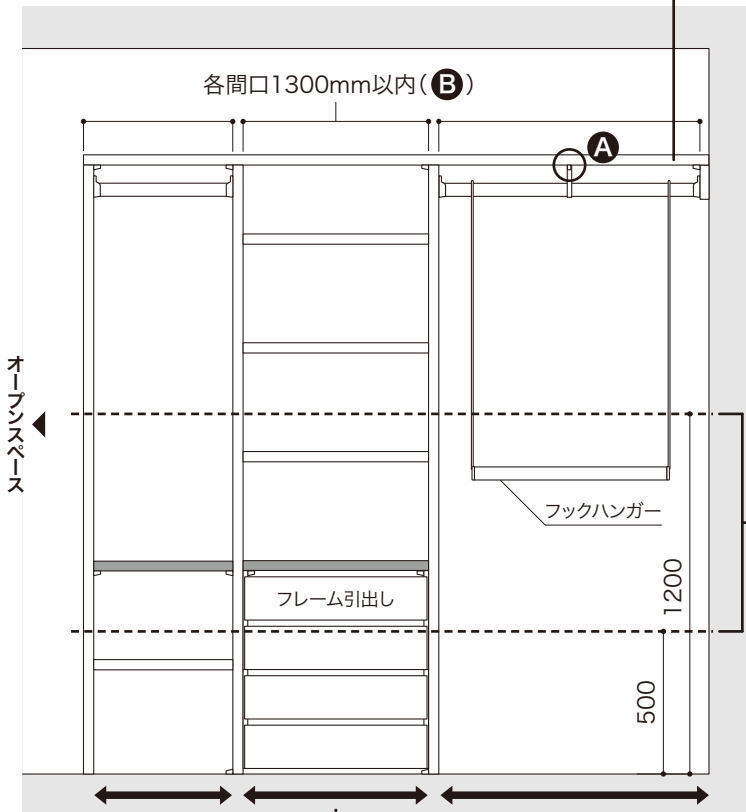
部材設置イメージ図

天板を連結する場合

天板継ぎ目部分の下部を必ず仕切板で連結し、同梱の樹脂金具で天板と仕切板を固定してください。



[正面図]



間口カットについて

網棚、スラックスハンガー、フレーム引出し、バスケット、ギャラリーケースを設置する列は間口カットができません。

背板パネルを設置する場合

1列の間口が885mm以上の場合、背板パネルの取り付けはできません。
※背板パネルの木口が見える場合は隙間かくし材で納めます。

各側板・各仕切板について

各側板

側板・ショート側板・エンド側板・ハーフエンド側板の4種類があります。

側板・ショート側板: 壁面へ取り付け
エンド側板・ハーフエンド側板: オープン側へ取り付け

各仕切板

仕切板・ショート仕切板・ハーフ仕切板の3種類があります。

施工前に **製品図面 P1~2** を参照し、それぞれの用途に応じた施工を行ってください。

●1列の間口が1000mmを超える場合は天板下面と壁面を樹脂金具で固定してください。(左図 **A**)

●1列の間口は1300mm以内で設計してください。1300mmを超える場合は、仕切板を追加設置してください。(左図 **B**)

各棚板を設置する場合

●**片側(もしくは両側)にオープンスペースがある場合**、各棚板(固定)を1列につき1枚以上設置してください。

また、右記のプランの場合、**C** 位置の棚板(固定)は、下地のある背壁面に固定してください。

●設置高は床から各棚板上面まで500~1200mmの間です。
お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。

●ハーフエンド側板を使用するプランの場合は、設置条件に関わらず、棚板(可動)のみの構成が可能です。

●フレーム引出しを取り付ける場合は、上段に必ず棚板(固定)を設置してください。複数設置する場合は最上段のみです。

●バスケットを取り付ける場合は、上段に必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを設置してください。複数設置する場合は最上段のみです。



各棚板について

各棚板

棚板／網棚／フリーカット棚板の3種類があります。

施工前の確認事項

寸法単位:mm

樹脂金具について

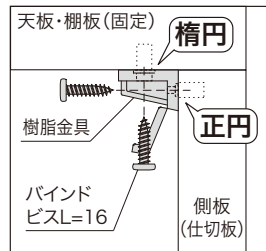
樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

樹脂金具 (正円) ➡ ダボ穴／側板・仕切板
樹脂金具 (楕円) ➡ 下穴／天板・各棚板 (固定)

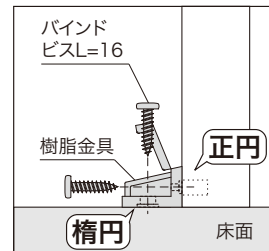
ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

天板・棚板 (固定)



床面への固定



躯体準備

寸法単位:mm

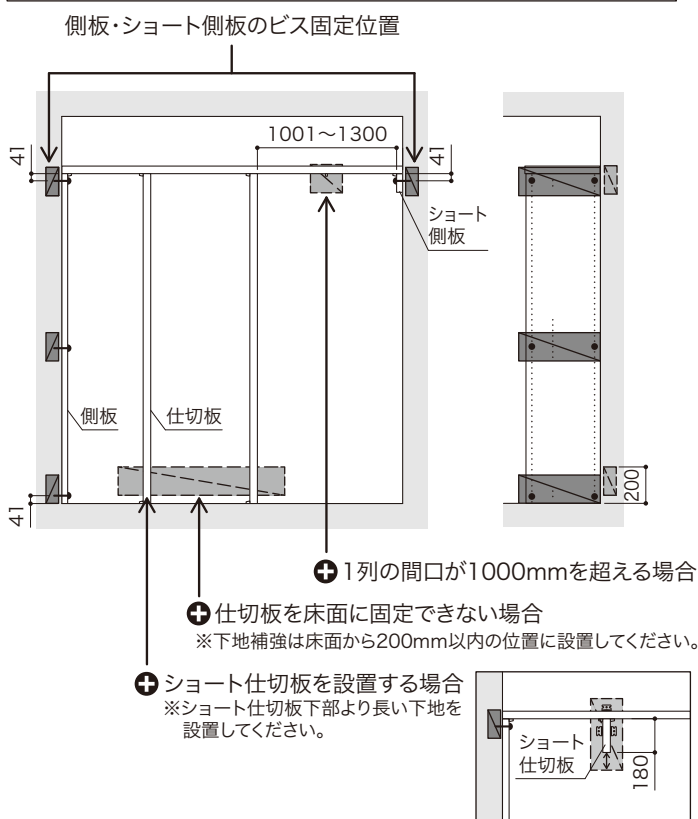
- 施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 躯体の垂直・直角、床面の水平が取れていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
- 床面にバインドビスL=16で固定するため12mm厚以上のフローリングなどを用いて施工を行なってください。
- 本製品は以下の場所に下地補強が必要です。それぞれビス取り付け位置に補強桟木や12mm厚の合板 (現場調達) を設置してください。

■ : 基本の下地補強位置 / ■ : 設置場所・プランニングにより必要な下地補強位置

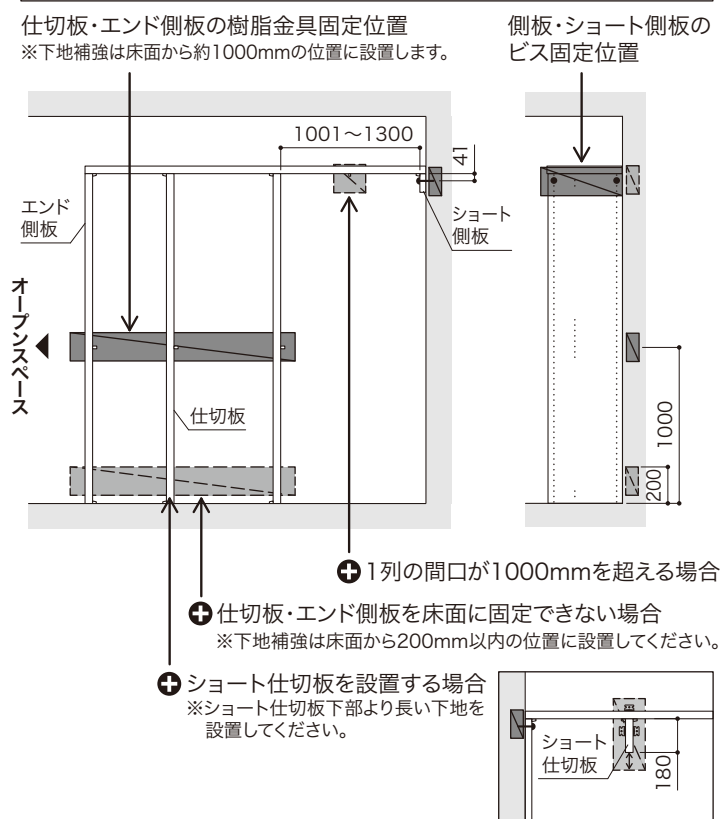
ご注意

本体は必ず壁面・床面、または下地補強済みの躯体に固定してください。壁面の下地処理が不充分だと転倒・脱落の原因となります。

両側壁納め



片側オープン



※図は説明のため、側板・ショート側板・エンド側板・仕切板・天板のみを表示しています。 ※図の寸法は高さ方向のカットがない場合の数値です。

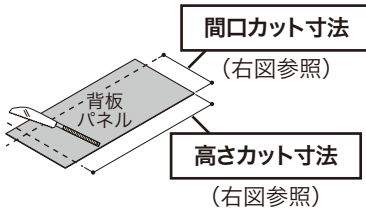
施工手順

寸法単位:mm

1 背板パネルの取り付け(背板パネルを取り付ける場合のみ)

1 背板パネルの加工

右図を参考に設置位置を確認して背板パネルをカットしてください。

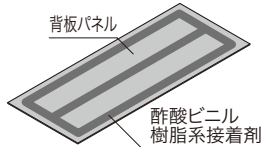


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背板パネルの取り付け位置を墨出しします。

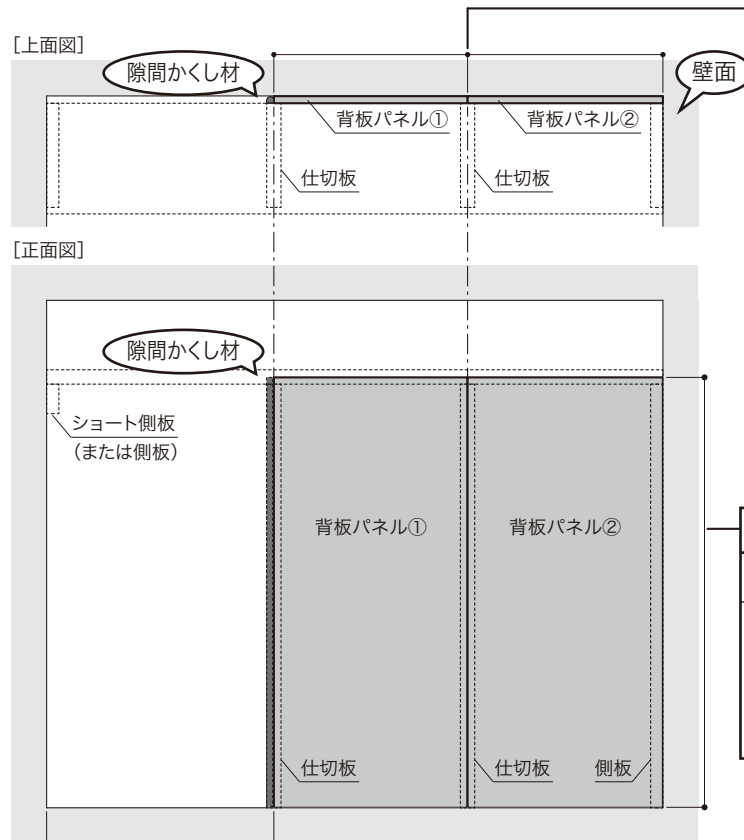
3 背板パネルの貼り付け

酢酸ビニル樹脂系接着剤+フィニッシュネイルまたは隠し釘(現場調達)で壁面へ背板パネルを固定してください。



ご注意

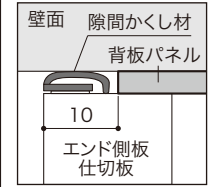
背板パネルを取り付ける場合は、クロスを貼らずに石膏ボード仕上げの上に付けてください。



1列の間口が885mm以上の場合、背板パネルの取り付けはできません。
※背板パネルの木口が見える場合は隙間かくし材で納めます。

間口カット寸法

- ・背板パネル同士の継ぎ目は仕切板の後ろで納めてください。
- ・隙間かくし材が必要な箇所は、下図を参考に背板パネルを10mm短くカットしてください。



高さカット寸法

側板高さ寸法+10

※巾木が取り付く(ある)場合
側板高さ寸法+10-巾木高さ
巾木の上面から背板パネルを取り付けてください。

2 各側板の取り付け

側板・ショート側板は壁側、エンド側板はオープン側に取り付けてください。

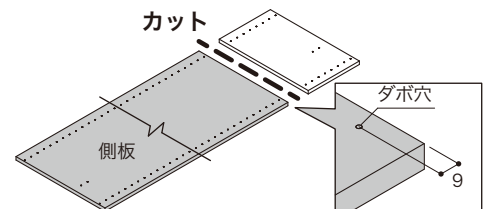
カットする場合(側板・エンド側板のみ)

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



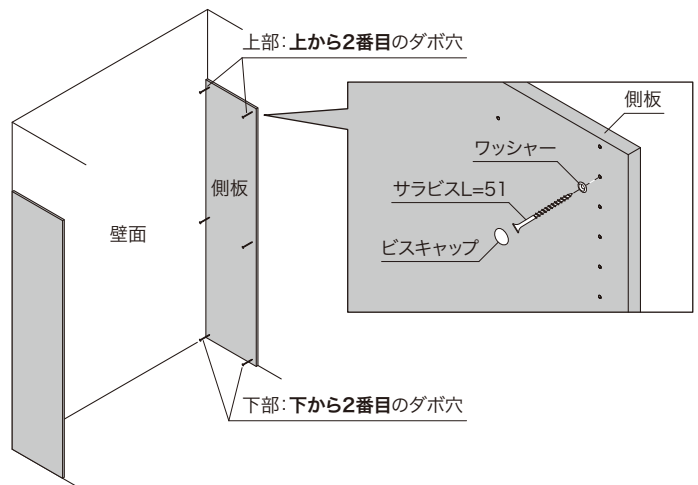
側板

側板を躯体にサラビスL=51(ビスキャップ付)で固定してください。

ビス固定位置:D3・D4・D6・・・前後2箇所×上部・中央部・下部

ご注意

- サラビスL=51を取り付けるダボ穴は
上部:上から2番目、下部:下から2番目、
中央部:他の部材の固定などに使用しないダボ穴を選んでください。
- 必ず下地のある位置で固定してください。



施工手順

寸法単位:mm

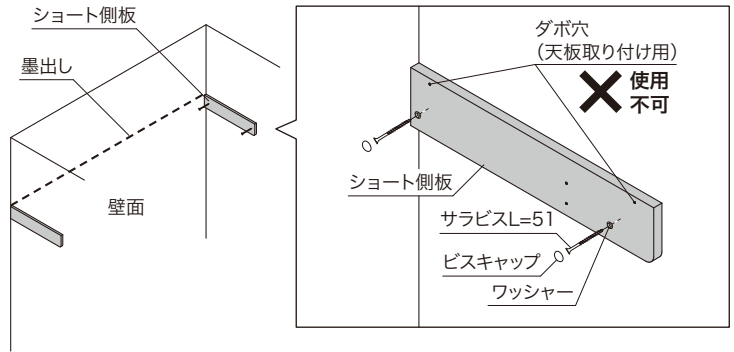
ショート側板

左右が水平になるように取り付け位置を墨出しし、ショート側板を躯体にサラビスL=51(ビスキャップ付)で固定してください。

ビス固定位置:D4・・・前後2箇所/D6・・・前後中央3箇所

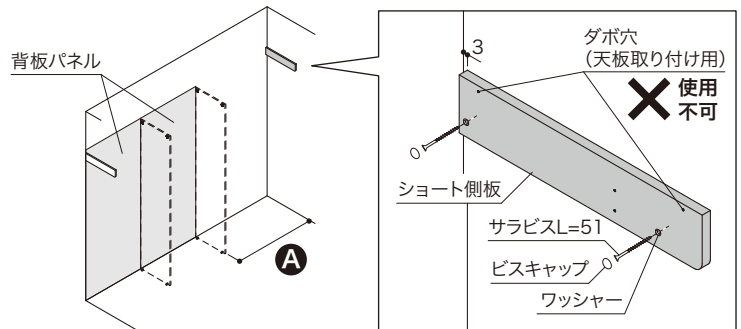
ご注意

- ショート側板にはサラビスL=51取り付け用のダボ穴がありません。**天板取り付け用のダボ穴(右図参照)を使用しないようご注意ください。**
- 必ず下地のある位置で固定してください。



ご注意

背板パネルを含むプランの場合、背板パネルを取り付けない列(右図 A)は背壁から3mm 間隔をあけて取り付けてください。



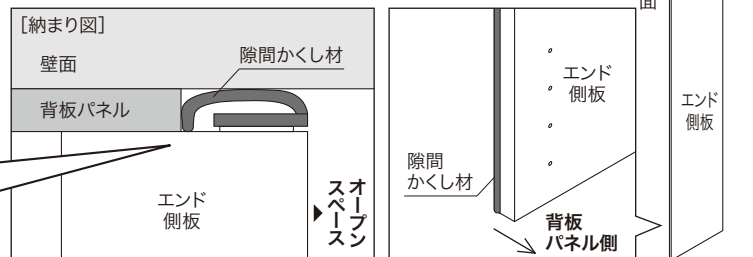
エンド側板

1 隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

エンド側板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置するエンド側板の指定位置へ貼り付けます。

ご注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



2 エンド側板の取り付け

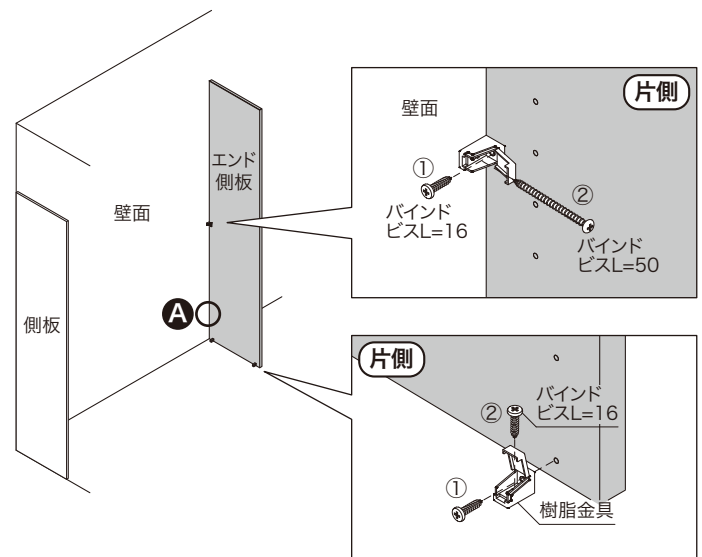
エンド側板の取り付け位置を墨出しし、背壁面・床面を壁面に樹脂金具を使って固定してください。エンド側板は、**片面のみの固定**となります。同梱されているエッジテープは天板の木口部分に貼ってください。

樹脂金具取付位置:

D3・D4・・・中央部 1箇所(ダボ穴なし)・下部 前後2箇所
D6・・・中央部 1箇所(ダボ穴なし)・下部 前後中央3箇所

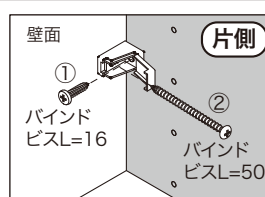
ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。



床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具でエンド側板を固定してください。(右図 A)



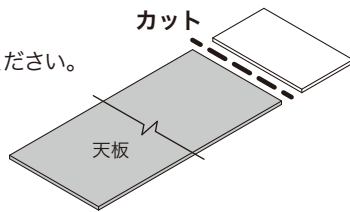
施工手順

寸法単位:mm

3 天板の取り付け

●カットする場合

設置位置の寸法にカットしてください。



❗注意

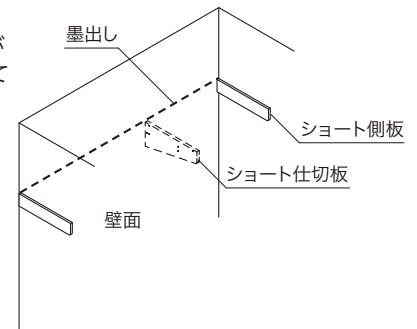
必ずエッジテープ側から
カットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



●墨出し(ショート仕切板を取り付ける場合のみ)

天板設置前にショート仕切板の取り付け位置を墨出しし、天板が水平になるように施工を行なってください。

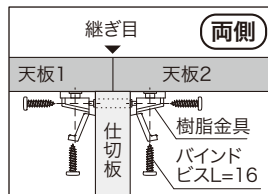


天板を側板上部両端にあるダボ穴に樹脂金具を使って固定してください。

樹脂金具固定位置:D3・D4・・・前後2箇所/D6・・・前後中央3箇所

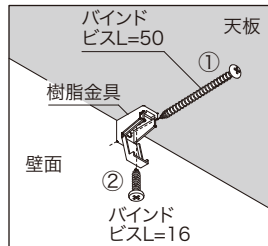
天板を連結する場合

2枚目の天板を図のように仕切板上部で連結し、両側を樹脂金具で固定してください。



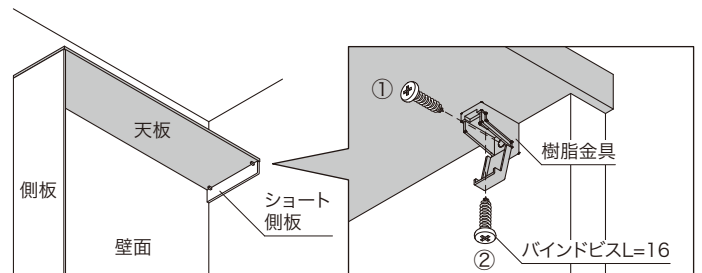
1列の間口が1000mmを超える場合

天板下面に間柱もしくは補強桟木のある壁面に樹脂金具で固定してください。

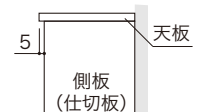


❗注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。



※天板は側板・仕切板より5mm手前になる設計になっています。



4 各仕切板の取り付け

仕切板

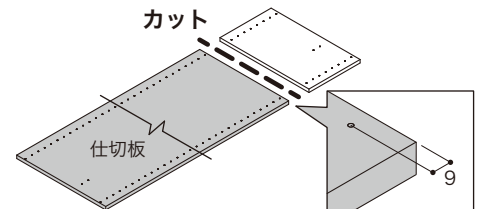
カットする場合

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

❗注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

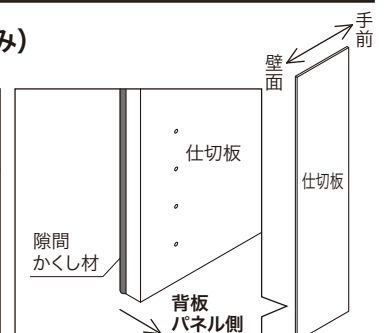
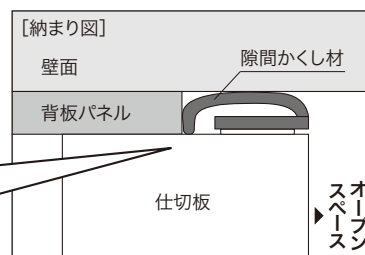


1 隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

仕切板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置する仕切板の指定位置へ貼り付けます。

❗注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



施工手順

寸法単位:mm

2 仕切板の取り付け

仕切板の取り付け位置を列の間口寸法にあわせて墨出し、天板と壁面に樹脂金具を使って固定してください。仕切板は、**片面のみの固定**となります。

樹脂金具取付位置: D3・D4・・・前後2箇所×上部・下部
D6・・・前後中央3箇所×上部・下部
片側オープン の場合
D3・D4・D6・・・中央部1箇所(ダボ穴なし)

ご注意

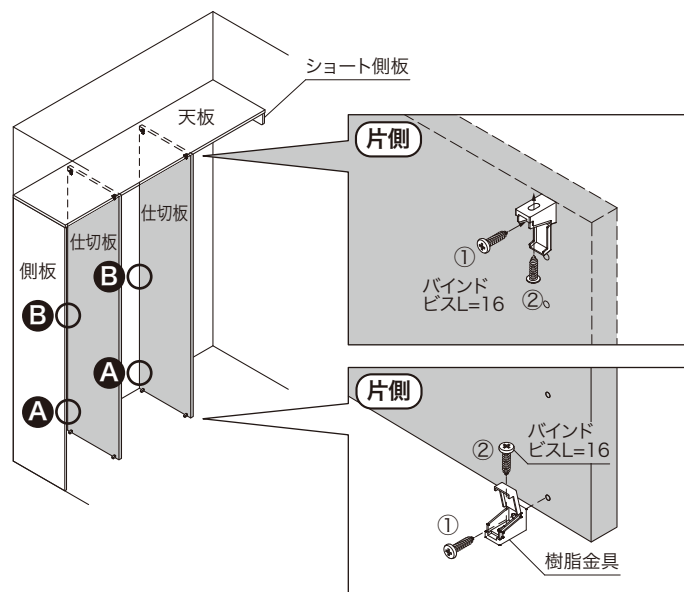
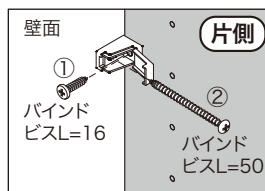
壁面は必ず下地のある位置で固定してください。

片側オープン の場合

床面から約1000mmの下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板を固定してください。(右図 **B**)

床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板を固定してください。(右図 **A**)



ショート仕切板

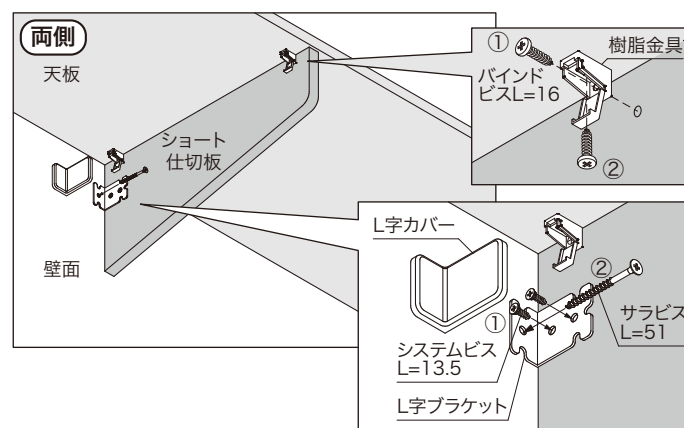
1 天板下部の固定

2 で墨出した位置へ壁面にL字ブラケット、天板に樹脂金具にて固定してください。ショート仕切板は、**両面固定**となります。

樹脂金具固定位置: D4・・・両面 前後4箇所
D6・・・両面 前後中央6箇所
L字ブラケット固定位置(天板下部): D4・D6・・・両面 2箇所

ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。

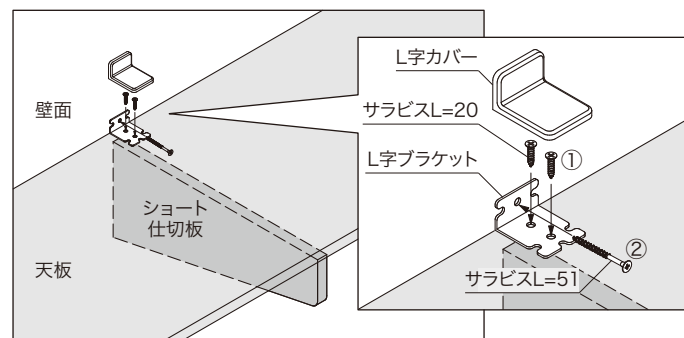


2 天板上部の固定

L字ブラケットで背壁に固定してください。

ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。



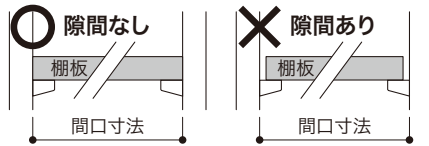
施工手順

寸法単位:mm

5 各棚板(固定)の取り付け

カットする場合(棚板・フリーカット棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。
※フリーカット棚板は補強棧も同じ寸法にカットしてください。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。

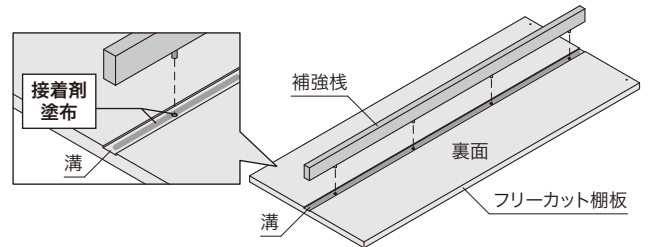


1 取り付け前の準備(フリーカット棚板のみ)

棚板裏面の溝部分とダボ穴に酢酸ビニル樹脂系接着剤(現場調達)を塗布し、補強棧を固定後、接着剤がなじむように圧着してください。

ご注意

- 補強棧が棚板からはみ出さないよう注意してください。
- 組み立てには必ず当て木を使用してください。
- 最低24時間静置・養生してください。

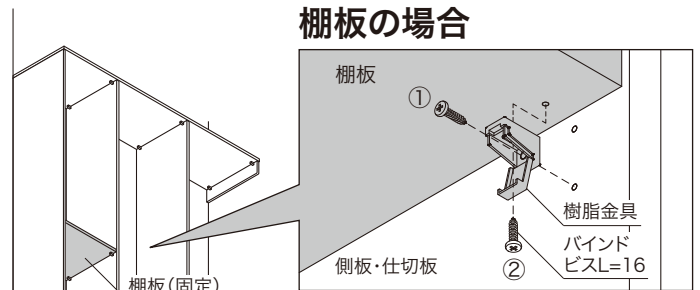


2 棚板の固定

各棚板と側板・仕切板のダボ穴を樹脂金具を使って右図のように固定してください。

ご注意

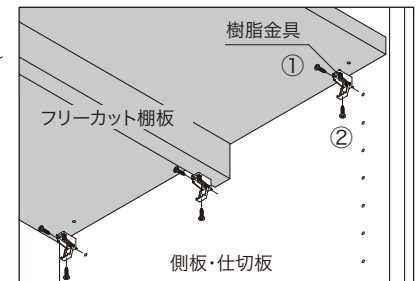
- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。



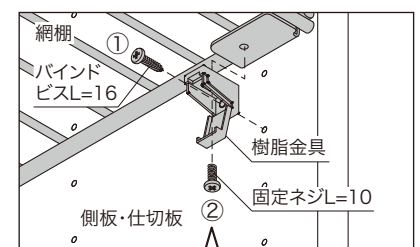
樹脂金具固定位置

棚板	D3・D4: 前後2箇所×左右
網棚	D6: 前後中央3箇所×左右
フリーカット棚板	前後、補強棧下部3箇所×左右 (補強棧下部 下穴なし)

フリーカット棚板の場合



網棚の場合



ご注意

電動式ドライバー使用禁止



施工手順

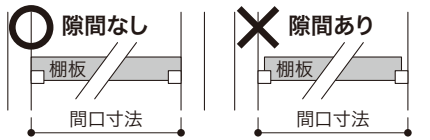
寸法単位:mm

6 各棚板(可動)の取り付け

躯体や側板・仕切板と背壁・横木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

●必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

●網棚はカットできません。



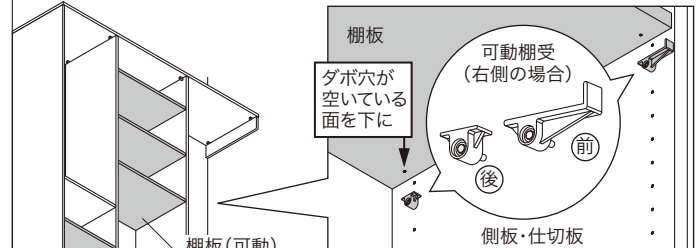
可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。
※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時
でご注意ください。

ご注意

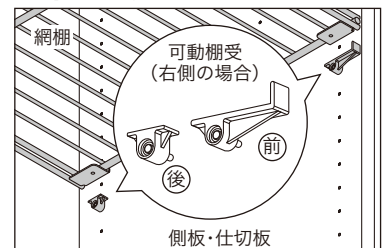
- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないよう
ご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認
ください。

可動棚受金具取付位置: D3・D4・・・前後2箇所×左右
D6・・・前後中央3箇所×左右

棚板の場合



網棚の場合



7 ハンガーパイプの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ** P21

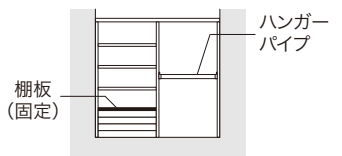
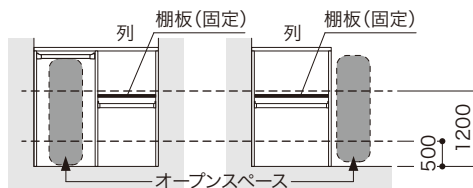
列の中央部にハンガーパイプを取り付ける場合の設置条件

両側に壁、もしくは各棚板(固定)が設置されている場合、ハンガーパイプのみでの設置が可能です。

ご注意

片側(もしくは両側)にオープンスペースがある場合

1列につき必ず1箇所(床から棚板上面まで500~1200mmの間)各棚板(固定)を設置してください。

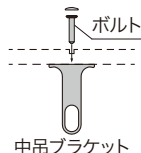


1 パイプソケットの取り付け

各側板・各仕切板のダボ穴にバインドビスL=16で固定してください。

ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

中吊ブラケットでの補強が必要です。
中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけ、
上からボルトで固定してください。
その後、ビスキャップを取り付けてください。

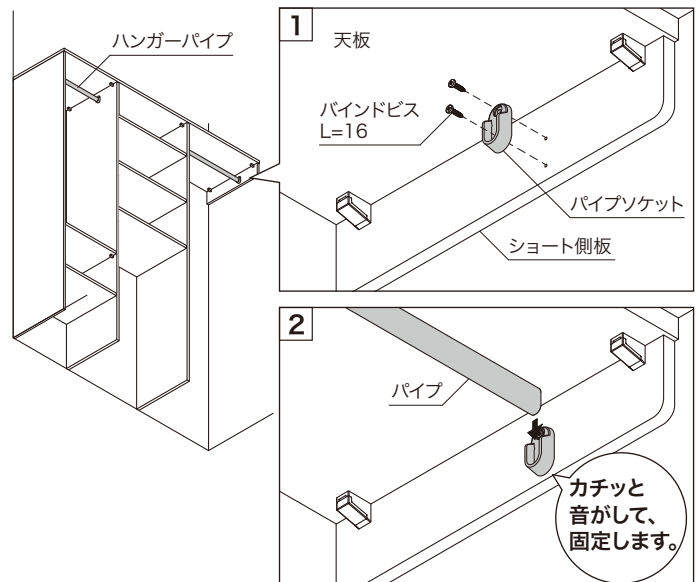


2 パイプの取り付け

取り付ける列の間口寸法からソケット厚(両側あわせて15mm)を差し引いた寸法にパイプをカットし、パイプソケットに取り付けてください。

ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。



施工手順

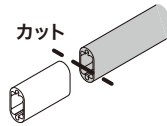
寸法単位:mm

8 フックハンガーの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P21**

カットする場合

パイプを現場の寸法に合わせてカットします。



ご注意

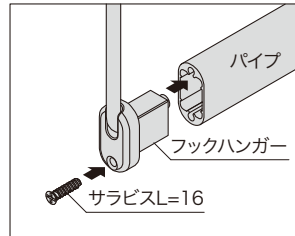
パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。
また、カットした後、断面の鋭利な部分はヤスリなどで取り除いてください。

1 フックハンガーの組み立て

パイプにフックハンガー部を差し込み、サラビスL=16で固定してください。

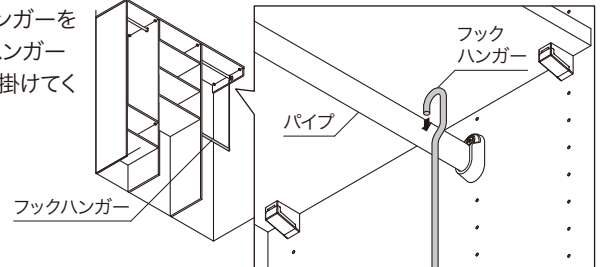
ご注意

- ネジの締め過ぎにご注意ください。
- 電動式ドライバー使用禁止



2 フックハンガーの取り付け

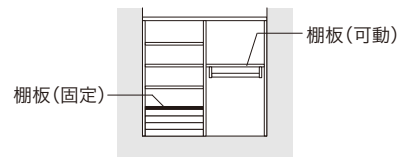
フックハンガーを上側のハンガーパイプに掛けてください。



9 上吊ハンガーパイプの取り付け

上吊ハンガーパイプ(可動式)の設置条件

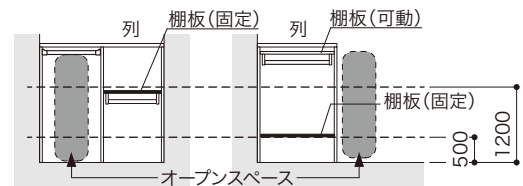
両側に壁、もしくは各棚板(固定)が設置されている場合、上吊ハンガーパイプ上部の棚板は、可動棚として使用できます。



ご注意

片側(もしくは両側)にオープンスペースがある場合

1列につき必ず1箇所(床から棚板上面まで500~1200mmの間)各棚板(固定)を設ける、または上吊ハンガーパイプ上部の棚板を固定してください。



ご注意

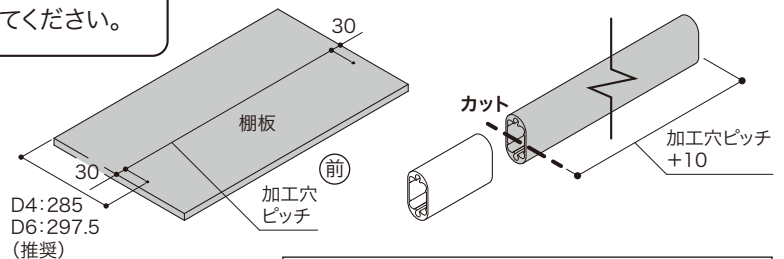
上吊ハンガーパイプは必ず木質の棚板(D4,D6)に取り付けてください。

1 下穴加工

右図を参考に、両端ブラケットの取り付け位置に7mmのキリで下穴を開けます。棚板の間口をカットした場合は、パイプも右図を参考に加工穴ピッチ+10mmになるようカットしてください。

ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

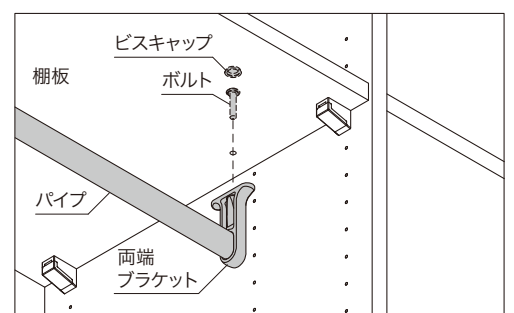
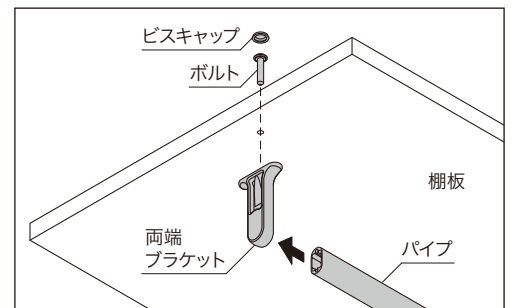
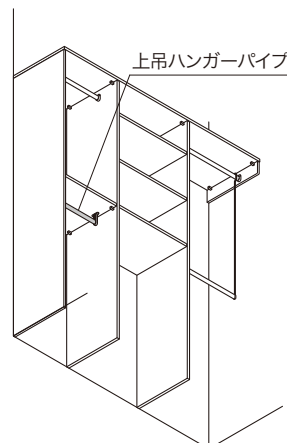
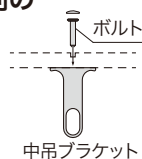


2 パイプの取り付け

下穴に向かって両端ブラケットを取り付け、棚板上部からボルトで固定します。その後、パイプを両端ブラケットに差し込みます。

上吊ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

中吊ブラケットでの補強が必要です。中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけ、上からボルトで固定してください。その後、ビスキャップを取り付けてください。



もう片方の両端ブラケットをパイプへ差し込み、棚板上部からボルトで固定します。

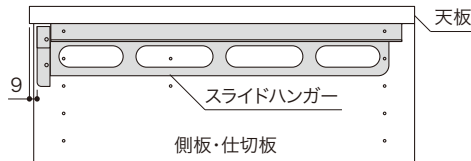
施工手順

寸法単位:mm

10 スライドハンガーの取り付け

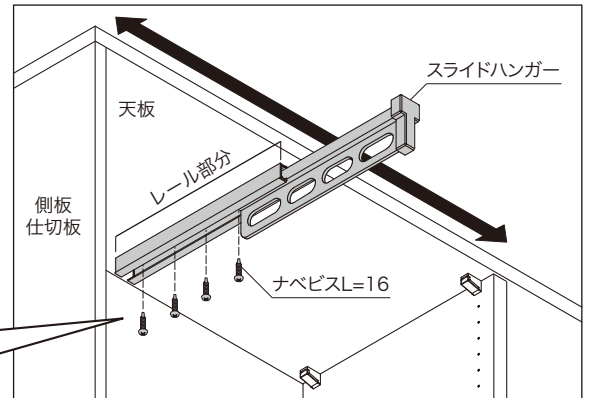
ハンガー部分を最大限に引き出し、レール部分を4箇所、天板にナベビスL=16で固定します。

天板前面から9mm程度あけて壁面と直角になるように取り付けてください。



ご注意

- 設置には600mm以上の間口が必要です。
- 列の間口のセンターに施工してください。
- 各棚板(可動)、網棚には取り付けできません。

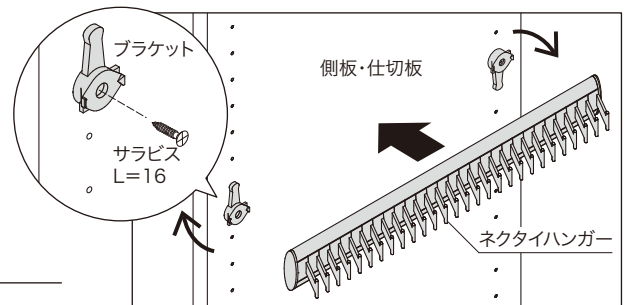
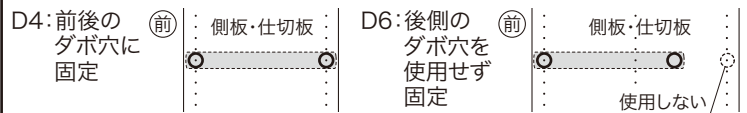


11 ネクタイハンガーの取り付け

1 ブラケットの取り付け

ブラケットをサラビスL=16で側板・仕切板に向かって取り付けてください。

ビス固定位置



2 ネクタイハンガーの取り付け

ネクタイハンガーをブラケットを時計回りに90°まわしながら押し付けてはめ込んでください。

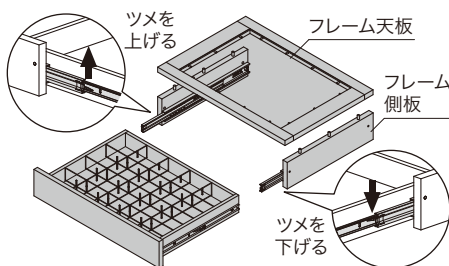
12 ギャラリーケース、スラックスハンガーの取り付け

設置位置詳細: 設置位置イメージ P22

1 取り付け前の準備

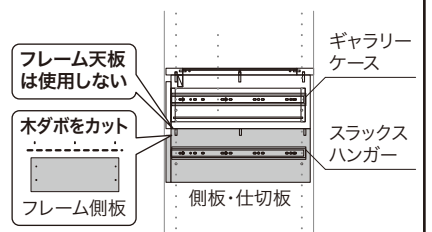
引出し部分を抜き出し、フレームを側板部分と天板部分にばらします。

※図はギャラリーケースで説明していますが、スラックスハンガーも同様に施工してください。



重ねて設置する場合

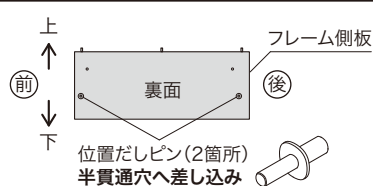
側板・仕切板へ固定する前に下段のフレーム側板(左右)の木ダボをカットしてください。また、下段のフレーム天板は使用しません。



2 フレーム側板の取り付け

位置だしピンを図のように差し込み、フレーム側板の位置を出します。

位置だしピン差し込み位置

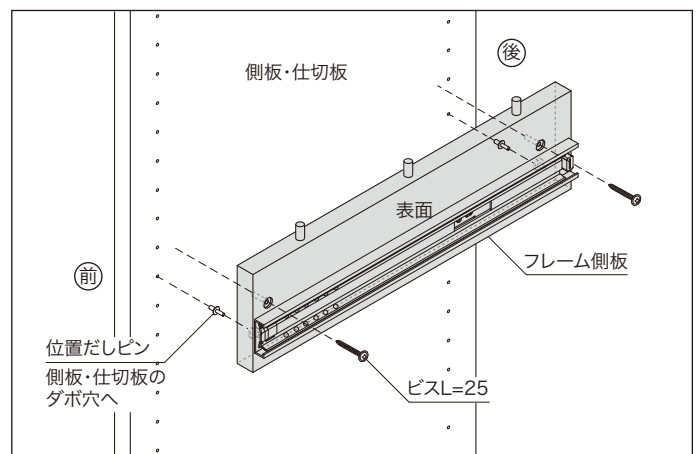


その後、フレーム側板表面の貫通穴からビスL=25で固定します。

ビス固定位置: D4...前後2箇所 / D6...前後中央3箇所

ご注意

- 重ねて取り付ける場合は下段から順に施工してください。
- フレーム側板は左用・右用があります。間違いのないように注意してください。



施工手順

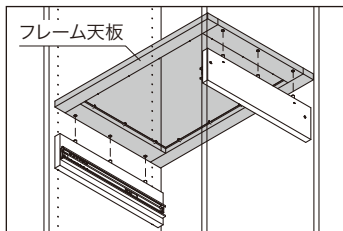
寸法単位:mm

3 フレーム天板の固定

フレーム天板のダボ穴に酢酸ビニル樹脂系接着剤(現場調達)を塗布し、フレーム側板へ固定後、接着剤がなじむように圧着してください。

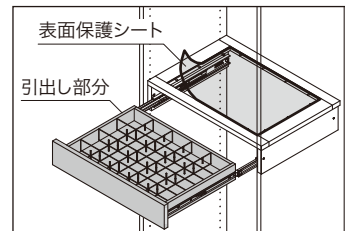
ご注意

- 組み立てには必ず当て木を使用してください。
- 最低24時間静置・養生してください。



4 引出しの差し込み

引出し部分を差し込み、透明パネルの表面保護シートを剥がしてください。



13 フレーム引出しの取り付け

設置位置詳細: 設置位置イメージ P22

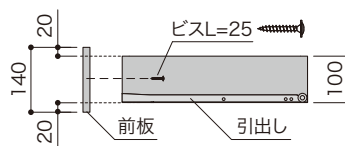
※図はフレーム引出し2段を設置する例で説明しています。フレーム引出し3段、深型フレーム引出し1段も同様に施工してください。

ご注意

フレーム引出しの上には必ず棚板(固定)を取り付けてください。複数設置する場合は、最上段のみです。

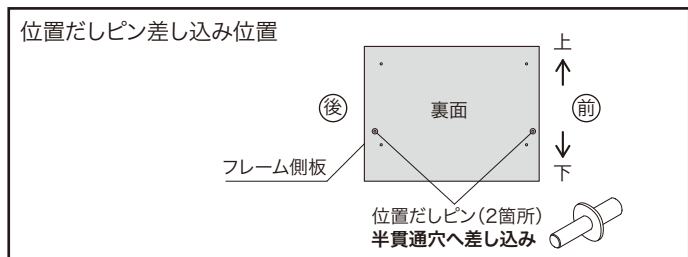
1 前板の取り付け

引出しの内側から前板の下穴に向かってビスL=25で取り付けてください。



2 フレーム側板の取り付け

位置だしピンを図のように差し込み、フレーム側板の位置を出します。

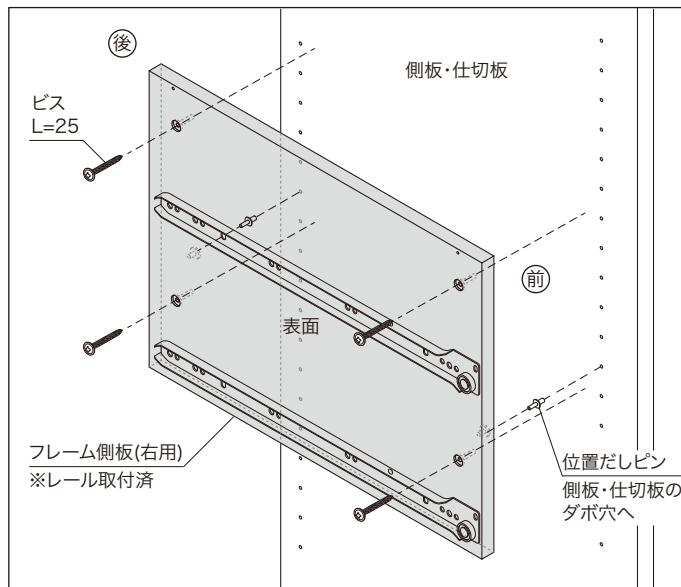


その後、フレーム側板表面の貫通穴からビスL=25で固定します。

ビス固定位置: D4・・・前後2箇所×上部・下部
D6・・・前後中央3箇所×上部・下部

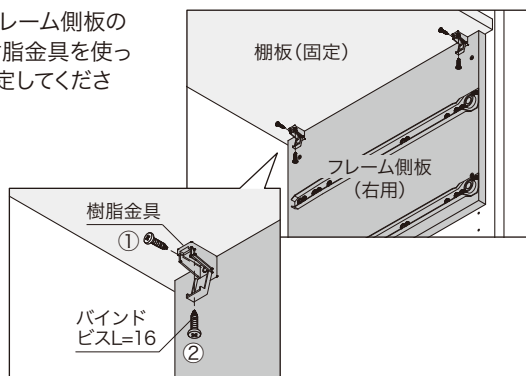
ご注意

- 複数取り付けの場合は下段から順に施工してください。
- フレーム側板は左用・右用があります。間違いのないように注意してください。



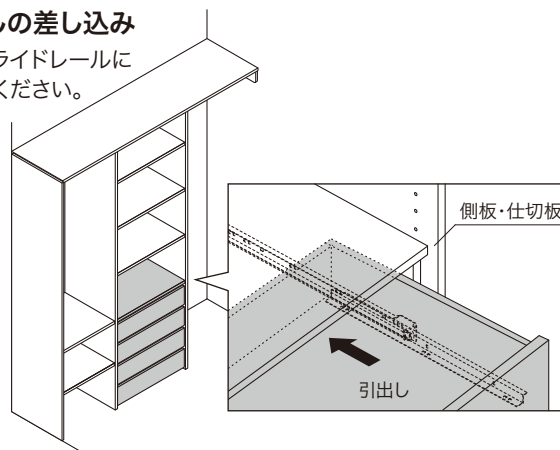
3 棚板の取り付け

棚板(固定)とフレーム側板の上端の下穴を樹脂金具を使って図のように固定してください。



4 引出しの差し込み

引出しをスライドレールに差し込んでください。



施工手順

寸法単位:mm

14 ボックス引出し、シャットレイの組立て

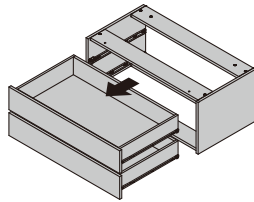
設置位置詳細: **設置位置イメージ** 裏面

ボックス引出し、シャットレイは側板、仕切板に固定する必要はありません。独立した収納ボックスとして設置してください。

1 各パーツの準備

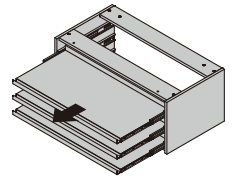
[ボックス引出し]

ボックス引出しは組立て前に引出し部分を抜き出してください。



[シャットレイ]

シャットレイはトレイ部分を引き出してください。



2 台輪枠の取り付け

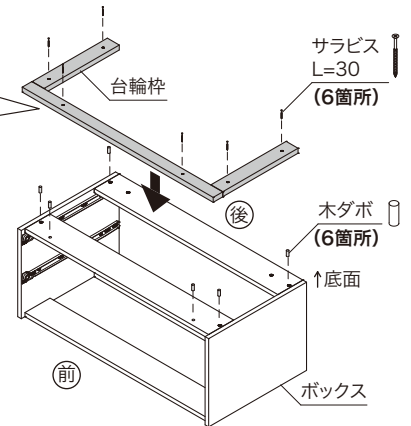
ボックス底面のダボ穴に木ダボを取り付けた後、台輪枠と連結します。さらにサラビスL=30で固定してください。

※図はボックス引出し2段で説明していますが、ボックス引出し3段、シャットレイも同様に施工してください。

ご注意

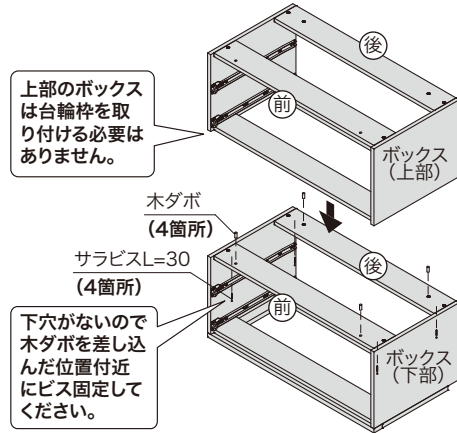
この時、床面に傷を付けないよう、ビス頭のはみ出しに注意してください。

台輪枠はエッジテープ面が外向きになるように取り付けてください。



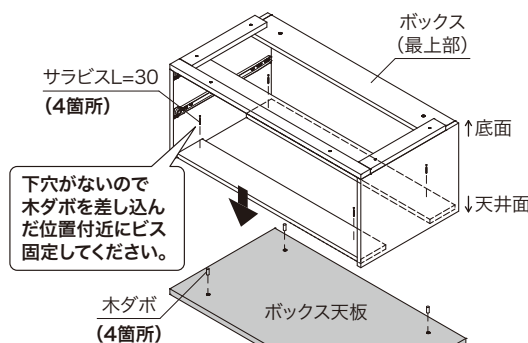
ボックスを連結する場合

ボックス上部にあいている連結穴に付属の木ダボを差し込んだ後、サラビスL=30で固定し、2個目のボックスの底面と連結してください。

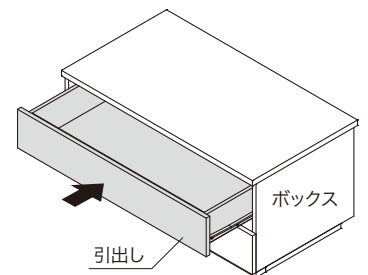


3 ボックス天板の取り付け

ボックス天板のダボ穴に木ダボを差し込み、ボックス天井面のダボ穴を連結した後、サラビスL=30で固定してください。



4 引出しの差し込み



15 バスケットの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ** P22

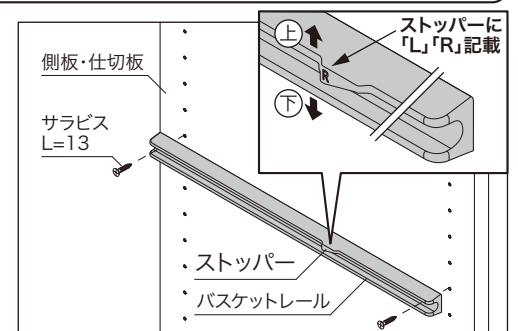
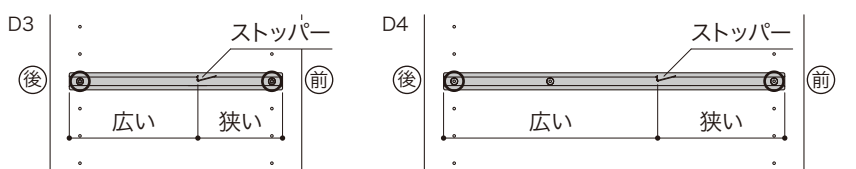
ご注意

バスケットの上には必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを取り付けてください。複数設置する場合は、最上段のみです。

1 バスケットレールの取り付け

側板・仕切板へサラビスL=13を使って図のように固定してください。レールの上下間隔は、ダボ穴5個以上あけて設置してください。

ビス固定位置: ダボ穴2箇所



ご注意

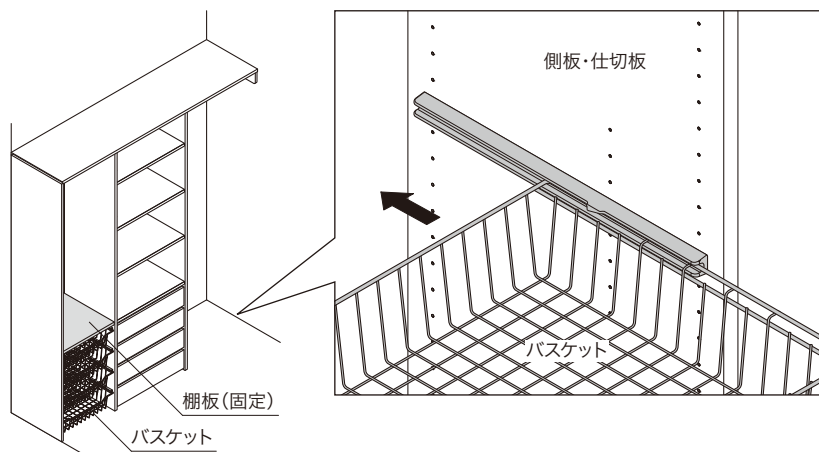
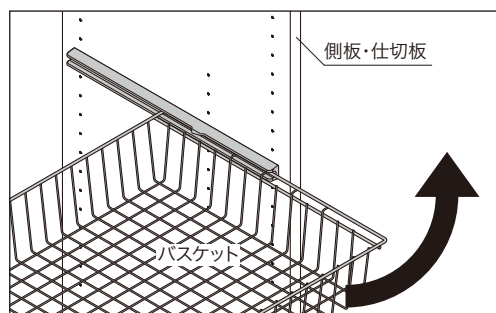
- バスケットレールには左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。

2 バスケットの差し込み

バスケットレールにバスケットを差し込んでください。

バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



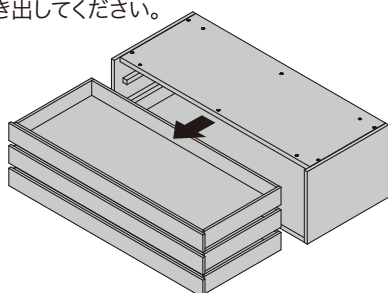
16 和盆の組立て

設置位置詳細: **設置位置イメージ** 裏面

和盆は側板、仕切板に固定する必要はありません。独立した収納ボックスとして設置してください。

1 各パーツの準備

組立て前に引出し部分を抜き出してください。

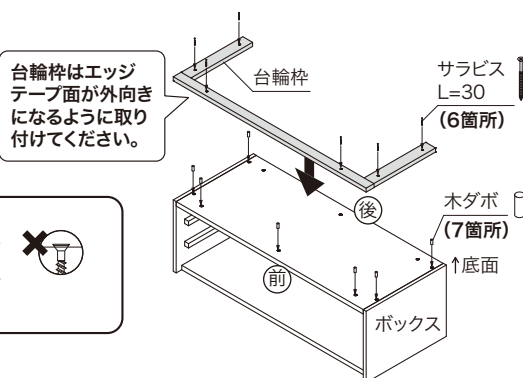


2 台輪枠の取り付け

ボックス底面のダボ穴に木ダボを取り付けた後、台輪枠と連結します。さらにサラビスL=30で固定してください。

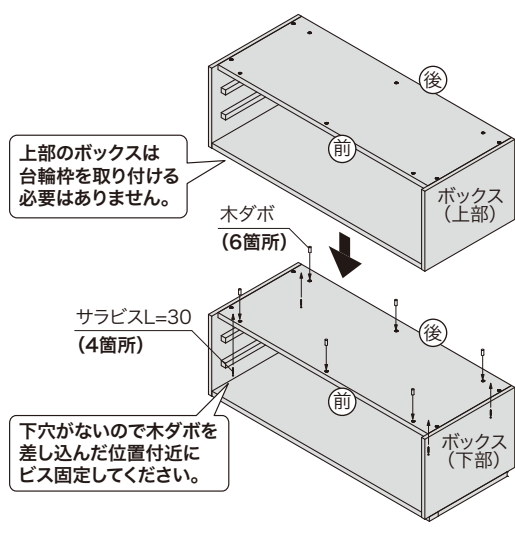
ご注意

この時、床面に傷を付けないよう、ビス頭のはみ出しに注意してください。



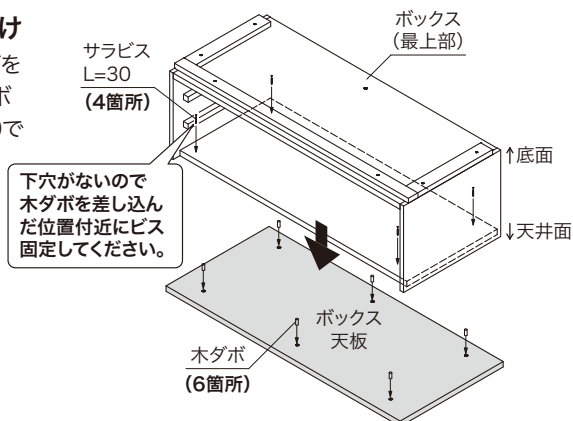
ボックスを連結する場合

ボックス上部にあいている連結穴に付属の木ダボを差し込んだ後、サラビスL=30で固定し、2個目のボックスの底面と連結してください。

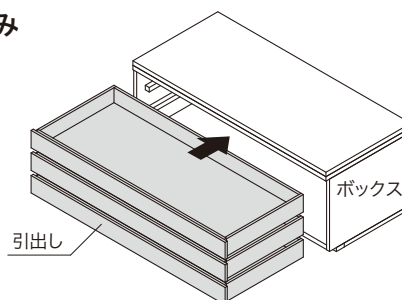


3 ボックス天板の取り付け

ボックス天板のダボ穴に木ダボを差し込み、ボックス天井面のダボ穴と連結した後、サラビスL=30で固定してください。



4 引出しの差し込み



施工手順 ウォークインタイプ (L型・U型)

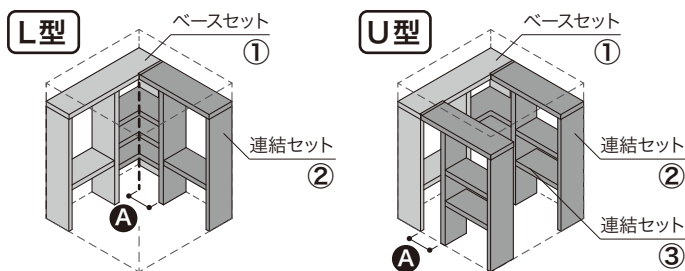
寸法単位:mm

ベースセット:両端に側板があり、壁に取り付けます。(右図①)

連結セット:片方の側板がなく、天板を連結させます。(右図②・③)

ご注意

- 天板ジョイント部から②エンド側板または仕切板までの幅(A)は250mm~1300mmにしてください。
- 引出し・バスケット等、手前に引出すパーツを設置する際は、②・③のエンド側板または仕切板に干渉しないか引出し幅をご確認ください。



1 ベースセット(①)の施工

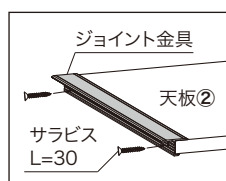
施工手順 P9~ 参照

2 連結セット(②)の施工

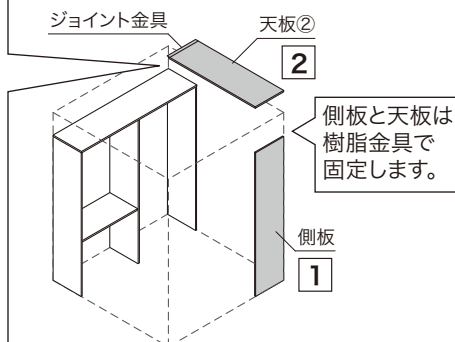
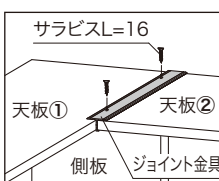
1 側板の取り付け・2 天板の取り付け

ジョイント金具の取り付け

ジョイント金具を連結セット(②)の天板に付属のサラビスL=30で取り付けます。

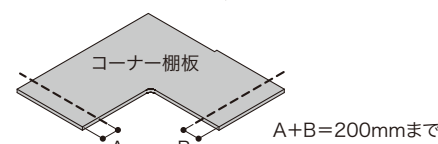


ジョイント金具をベースセット(①)の天板に付属のサラビスL=16で取り付けます。



コーナー棚板をカットする場合

間口の幅と同寸法にコーナー棚板をカットします。カット寸法はAとBの合計が200mmまでにしてください。(※A,B 2辺どちらもカット可能)

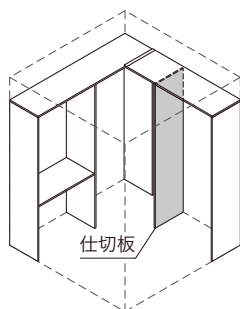


ご注意

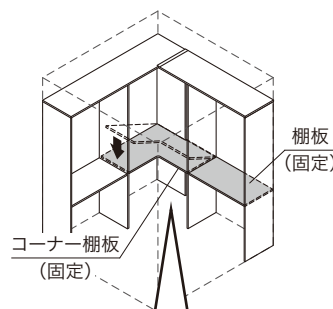
必ずエッジテープ側からカットしてください。

2 連結セット(②)の施工

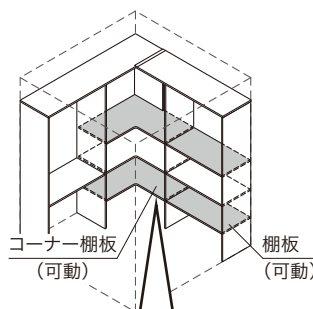
3 仕切板の墨出し・取り付け



4 固定パーツの取り付け



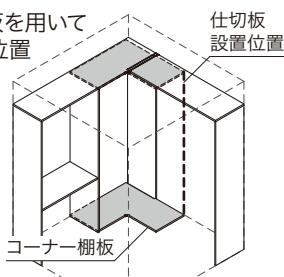
5 可動パーツの取り付け



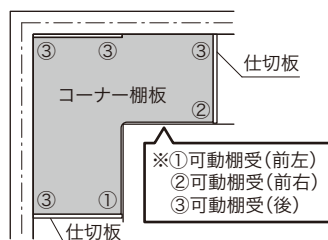
L型
完成

コーナー棚板を設置する場合

コーナー棚板を用いて仕切板設置位置を墨出ししてください。



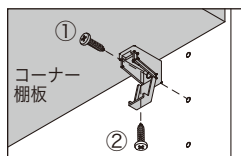
[パーツ配置図]



※図は棚板(可動)として使用する場合のパーツ配置図です。棚板(固定)として使用する場合は樹脂金具とバインドビスL=16を使用します。

コーナー棚板(固定)の取り付け

樹脂金具の正円側をバインドビスL=16で側板・仕切板へ取り付けてください。その後、バインドビスL=16でコーナー棚板を固定してください。



※コーナー棚板(固定)1段あたり樹脂金具は6箇所取り付けてください。(樹脂金具の配置は[パーツ配置図]参照)

ご注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

コーナー棚板(可動)の取り付け

コーナー棚板(可動)はあらかじめ右記の位置に積み上げてから施工に取り掛かってください。

コーナー棚板を設置位置へ上げながら可動棚受をダボ穴に差し込み、コーナー棚板をのせてください。

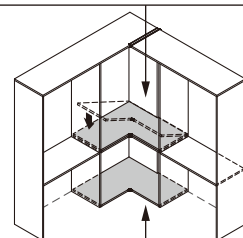


※コーナー棚板(可動)1段あたり可動棚受は6箇所取り付けてください。また、可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。(可動棚受の配置は[パーツ配置図]参照)

ご注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

コーナー棚板(固定)上側の設置枚数を上側へ



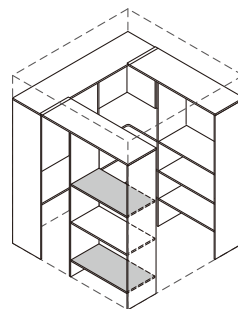
コーナー棚板(固定)下側の設置枚数を床面へ

ウォークインタイプ (L型・U型)

寸法単位:mm

3 連結セット(③)の施工 (U型の場合のみ) ※以下は施工の流れのみ説明しています。連結セット(②)と同様に施工してください。

- 1 側板の取り付け
 - 2 天板の取り付け
 - 3 仕切板の墨出し・取り付け
 - 4 固定パーツの取り付け
 - 5 可動パーツの取り付け



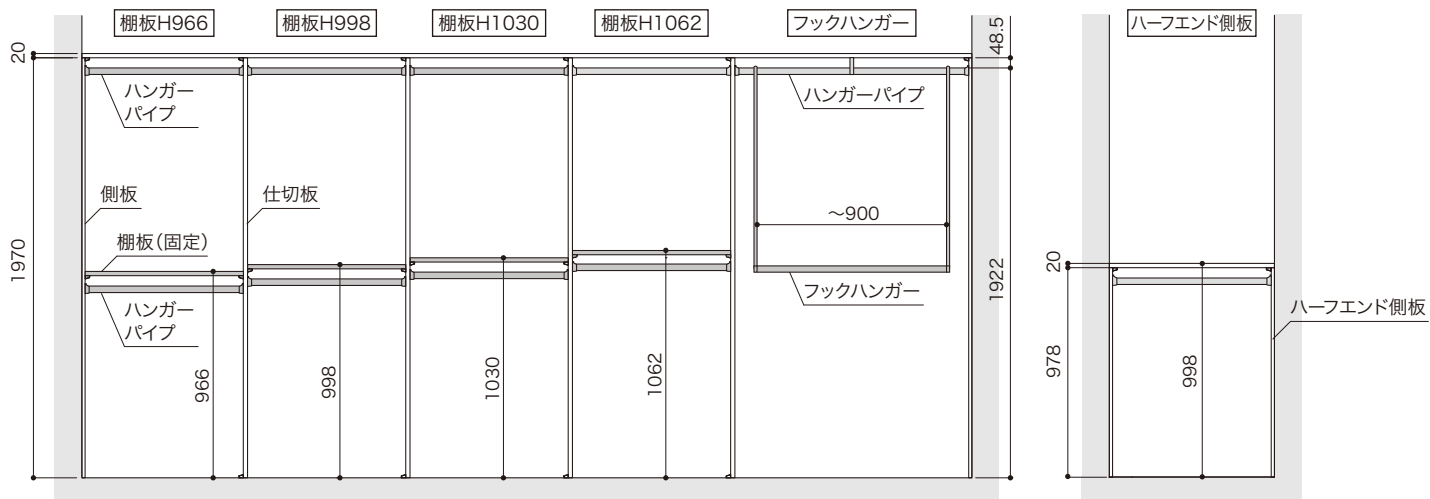
U型
完成

設置位置イメージ

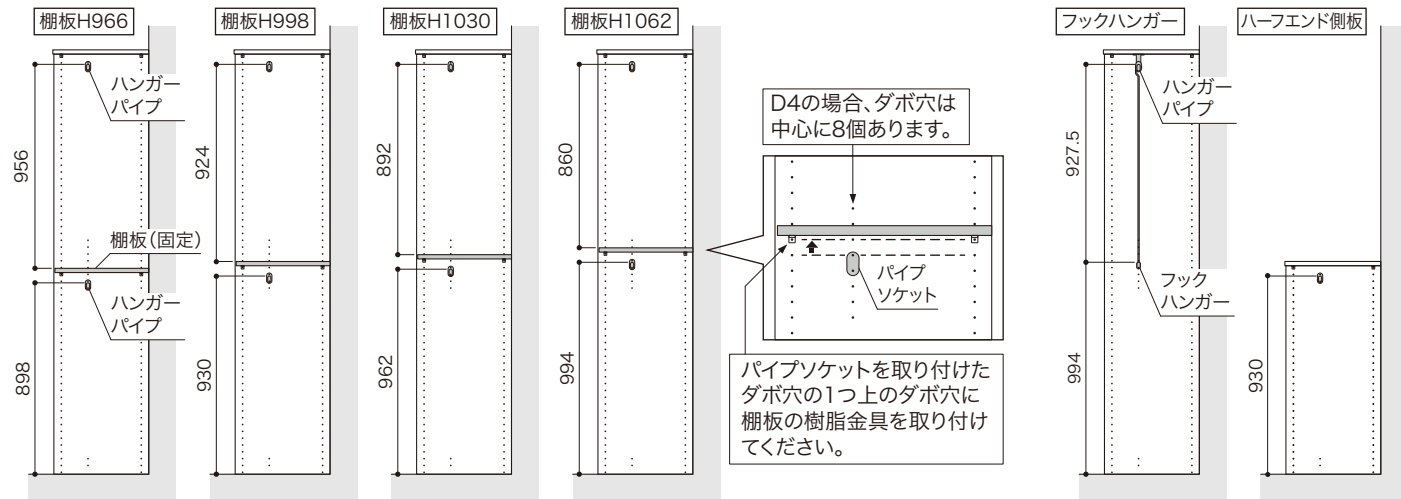
寸法単位:mm

■ ハンガーパイプ/フックハンガー

[正面図]



「断面図」



二 注意

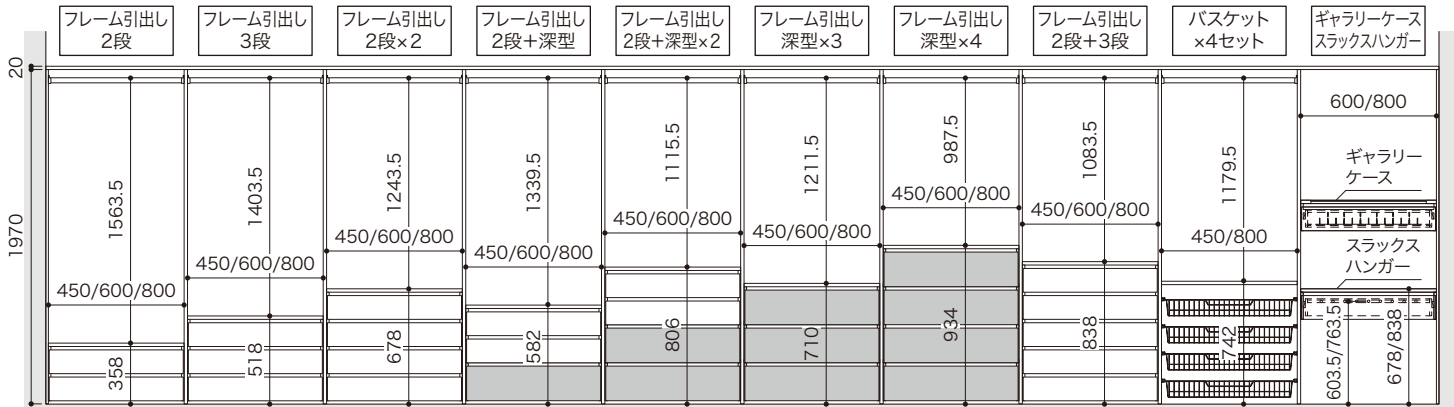
上部にハンガーパイプを設置する場合、その下のプラスアップパーツは洋服のサイズを考慮して取り付け高さを決定してください。

設置位置イメージ

寸法単位:mm

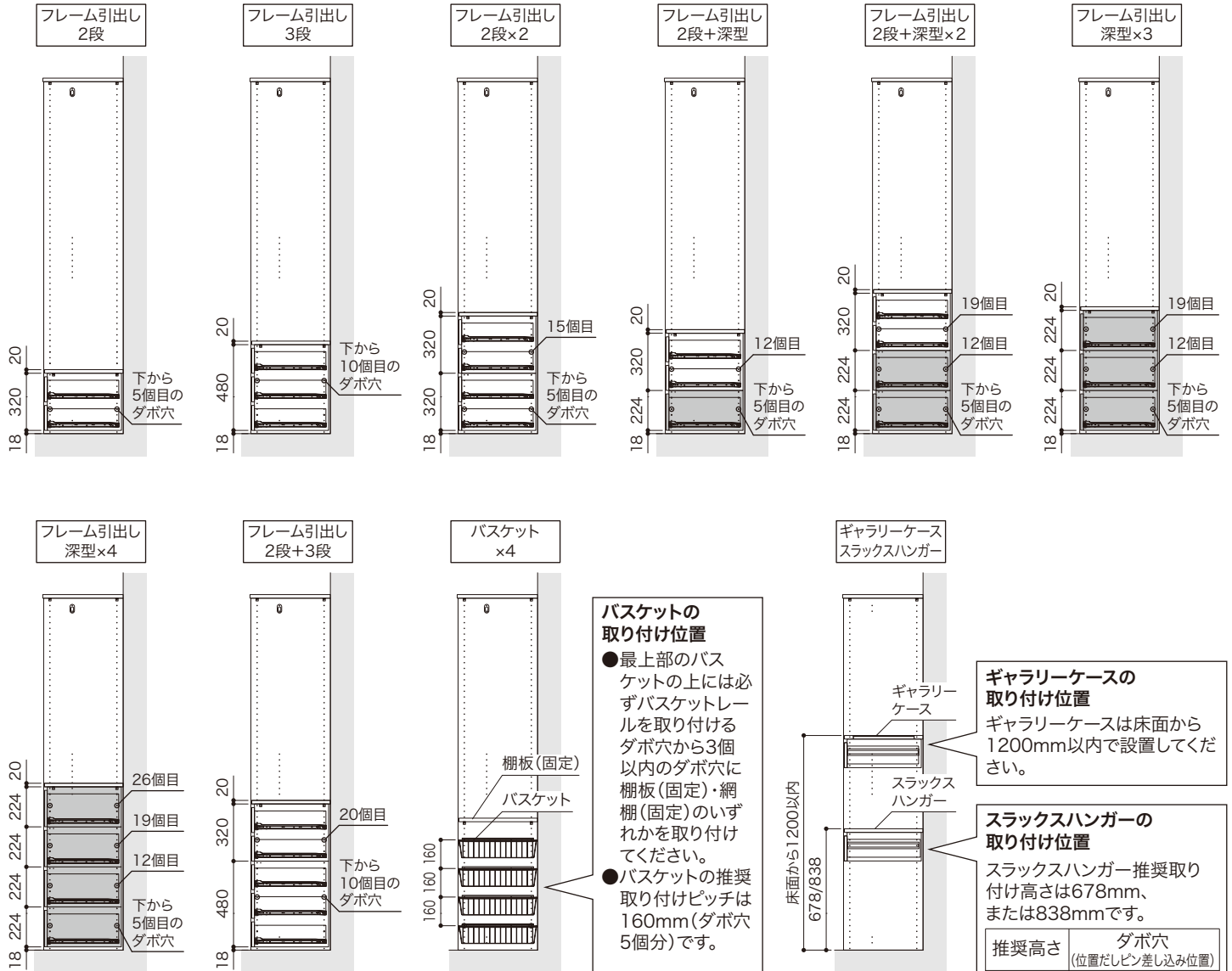
■ フレーム引出し2段・3段・深型フレーム引出し1段/バスケット/ギャラリーケース/スラックスハンガー

[正面図]



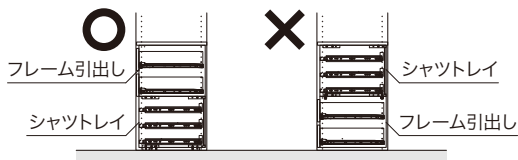
位置だしピン差し込み位置

[断面図]



ご注意

フレーム引出しの上にボックスタイプの引出し(ボックス引出し・シャツトレイ・和盆)は設置できません。

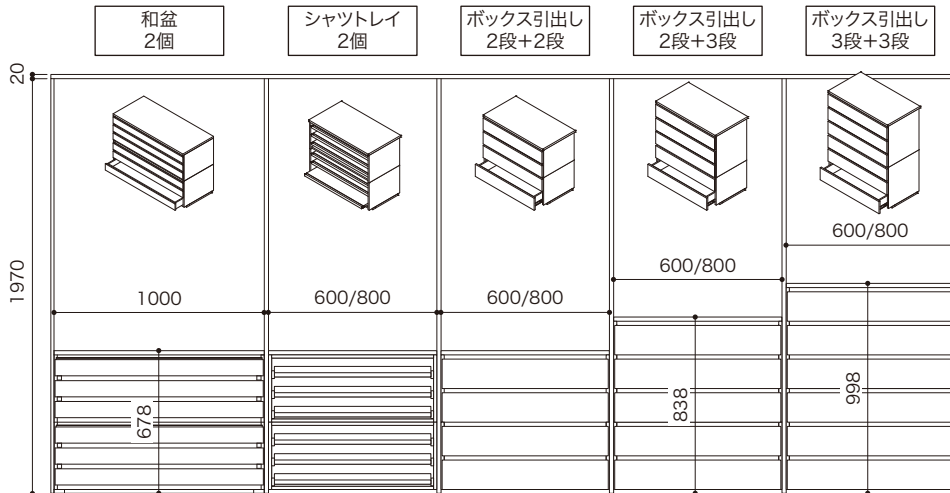


設置位置イメージ

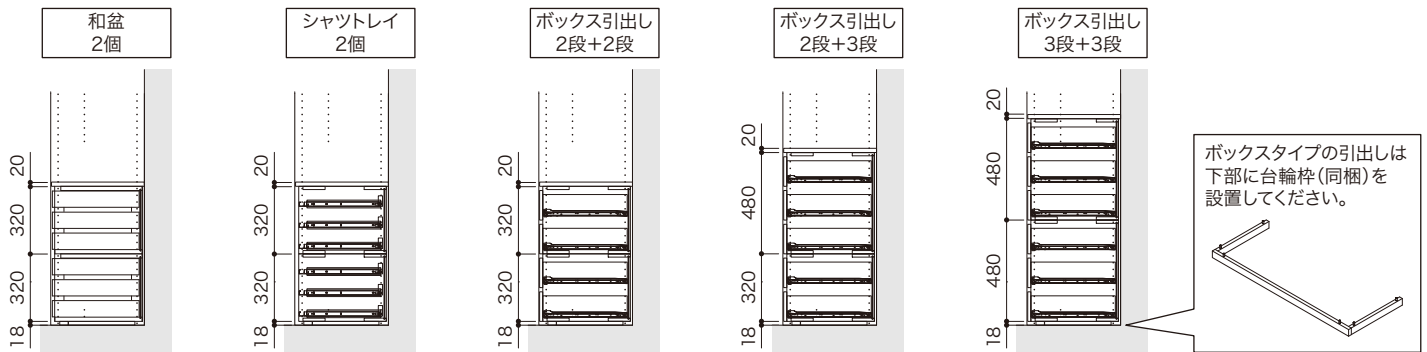
寸法単位:mm

■ ボックスタイプの引出し（和盆／シャットレイ／ボックス引出し）

[正面図]



[断面図]



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名: クロゼットシステム収納

ウォールゼットノエル3

製造者名称: 南海プライウッド(株)

発散区分: F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号: 製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分		下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	パーティクルボード	F☆☆☆☆
		合板	F☆☆☆☆
		接着剤	F☆☆☆☆

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先: 品質管理チーム 087-894-8025

NANKAI 南海プライウッド株式会社

NANKAI PLYWOOD

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ 首都圏 第1チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

西日本営業グループ 近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

東日本営業グループ 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

特需営業グループ 特需 第1チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669